



79
3746



門 7 8
號 3746
卷



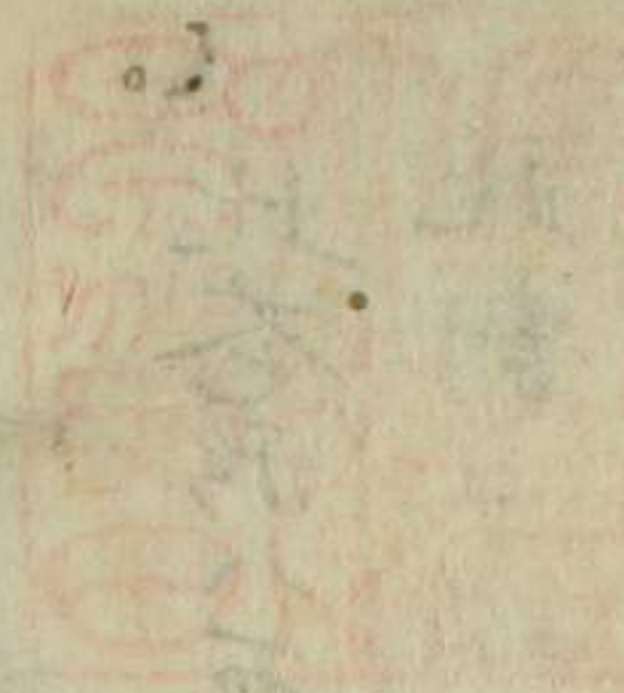
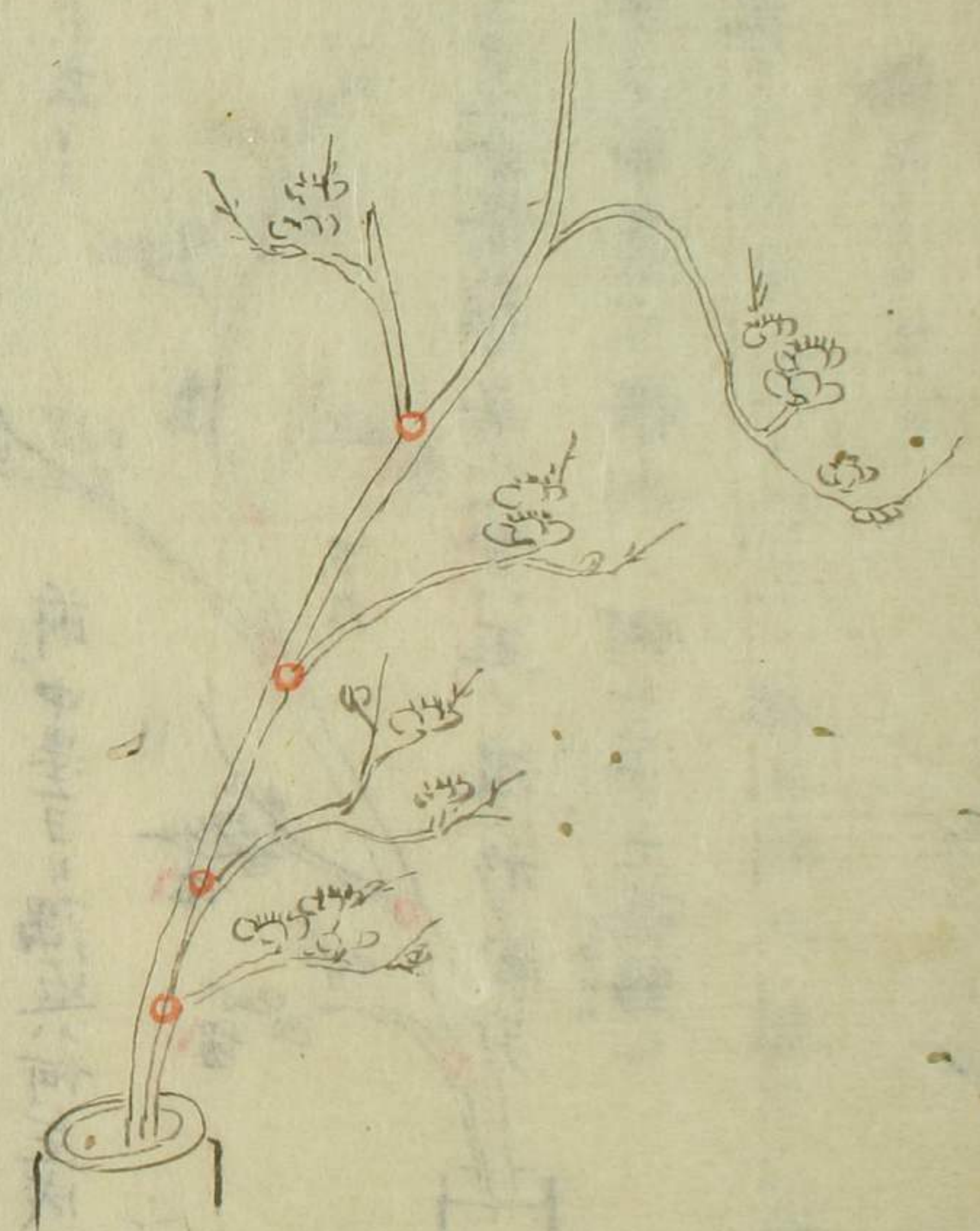
此花形五体圓備ノ花体ニ
此割ヲ以テ千草万木
ヲ及ヌニ尺ヌト云フ



○体正花ヨリ六分短クナリテ下四六割
ヲ合スニ又正通体三角形所要之留ハ
前中墨ヨリ隅迄六何ニ成ル覺ヲ振テ遣
之何レモロイ

○正ハ中墨ニテ二分寄梢ヲ居ルニ合正ノ後ニ形ヲ成シテ
前後ト割テ裏ニテハ中墨ヨリ横ハ何レニテモ拙勤之
通ハ前隅ニ振リテ前後ト割テ後呈ハ身木梢共ニ振ルニテ禁ス
五体各々体ノ働キアリロイ
此割ヲ以テ此下ノ出生ニ任テ割ヲ付ル之別イアリ

同上



五本園蔵の草木
○此五本園蔵の草木
○此五本園蔵の草木
○此五本園蔵の草木

○此花形ハ草木自然ノ氣形ヲ取成ス故ニ靡タル終ヲ生成ス

是ヲ假リニ五行ノ花體ト云フ

正中ニ寸ノ割ハ

通カ体ニテ取ク

通競ヒ登ルハ通ニテニ寸ノ

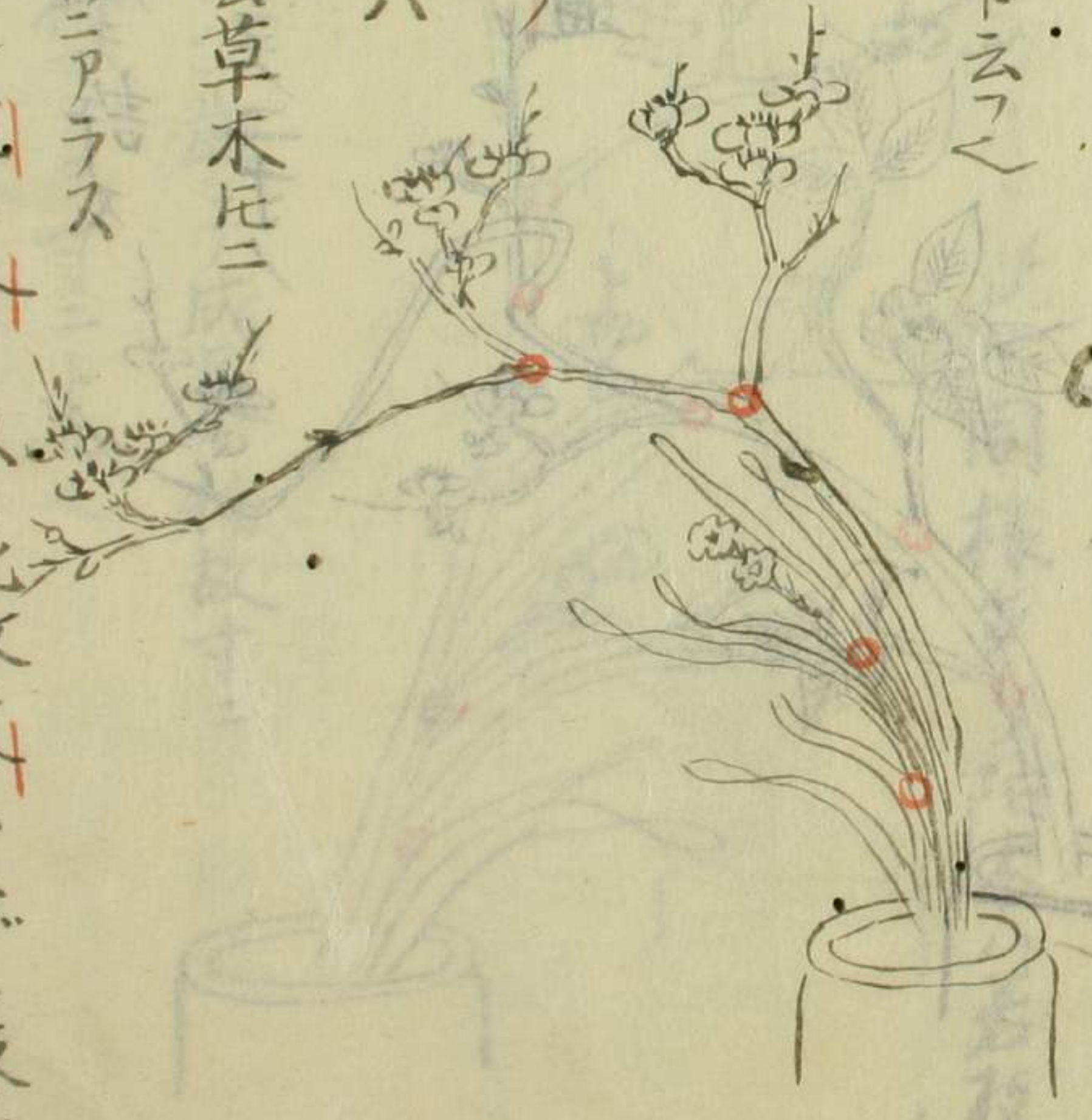
割ヲ取又通靡テ下ル時ハ

休ニテニ寸ノ割ヲトル之ロイ云草木はニ

直ニ育ツベキ筈ナレハ本形ニアラス

因茲正ノ相ハ通ノ質トナシ正ハ令ヲ以ス此故ニ令ハスグニ枝葉花共ニ

遣イナス是秘イアリ此花形ニテハ正ノ相長キヲ許ス



○正ノ梢ハ通ノ質ト成之正ハ令ヲ以テ是故ニ令ハ直ニ枝葉花共ニ遠ト成ス是ニ秘イアリ

此花形ニテハ正ノ梢長短ヲ許ス

如圖通下リ各時ハ体ニテニ寸ノ

割ヲ取ルニ右三角ノ

割ハ通上ハ體ハ下リ通

下ハ体上ハニ三角ノ割ヲ合セロイアリ

○此花ハ自然ノ原ノ形ニ似テハ正ノ梢ハ直ニ枝葉花共ニ遠ト成ス



○梅桃海棠ハニハリンコ

其外陽木ト名付木ハ何レニヨラス
同様多ク陽木ハ若枝ノ生ル
木ヲ云ク



○花ハ五葉七葉花之若梢ハ一歳ニ成長ノ物故寸ニ

合ス或ハ身木短キ時ハ若梢ニテ寸ニトル之

口イ曰陽木ハ本身木生ル時ハ陰ニ形ヲ生ス陰ハ四角ノ割トス此故ニ直ニ

生テ歳ヲ却テ立行ト陽トニ身木柯枝トモニ狂フ者口イ重々アリ

○惣テ陽木ヲ若梢ガリ遣フコトヲ嫌フニ身木無フニ若梢生ス事ナシ
 通ヨリ下ヲ餘単余木ヲ遣ウ時正ハ若梢ノ身木ヲ遣フニ身木ヲ
 令ノ分レヨリ上ニテ遣フヘシ



令ヨリ上ニテ氣形ヲナス者ナキ故ニ身木正トナル
 圖ノ如ク遣分レ通ヨリ下ハ余単余木何レニテモ不苦

○此類ハ若梢ハ一歳成長モノ故花器ノ三足許ス是ヲ限リトスト可知
 若梢三丈ヲ許ス時ハ令ノ若梢ニ若器ノ寸一丈歟
 一丈半ヲ急度可取ル

若梢ヲ遣フ時身
 木ノ梢ノ括タル歟
 切タルカ朽タル歟



花、出所不
 此水山回思不
 可致也

見立身木ノ中
 梢アル時ハ中段ヨリ若梢生スル古又ナシ自然ノ出生ヲ能ク可考

○外ニ身木ノ寸ニテ...

○他流ニ身木ナクシテ遣イアリ甚誤リク身木ナケル根トリト云一ニ
 歳三歳ニテハ花生スル者ニアラス身木太ク柯アリテ短キ時ハ正令通
 トズワエ遣身木ヲ体ニ遣ロイニ云林是ヲ一処ヨリ並テ生ル夏ナレ出
 生見ベシ



○身木前後在右ヨリ勿論ノ出生ヲ生ナスヘシロイアリ

○身木甚タ太夕短上上テ遣フ夏ハナリカタキ時ハ留ニ身木ヲ
 遣フテ正令通体ト若梢ヲ遣ベシロイ云身木細キ時ハ若
 梢多ク生スル者ニアラス随分身木太ク楚ノ生スヘキヲ見立
 テ遣ヘシ甚短ハ定リナシ
 右令ニテ寸ヲ取ヘシ



身木太ク短キ者ニアラス
 随分身木太ク楚ノ生スヘキヲ見立
 テ遣ヘシ甚短ハ定リナシ

○身木先ニ若梢アル時ハ若梢ヲ遣フ夏ヲ嫌フ

○如此アシ、

○如是ハヨロシ



表一切

○表一切裏一

切十レハ許ス

表二切ハ許

オス

○身木最初ニハ若梢ト成テ生レ歳ヲ却テ種々ニ枉フ依テモツレ枝ヲ許ス

○桃ノ別イ云ク阳木ハ都テ身木 差ナキニテハ遣カタル然レ桃ハ身木ノ梢ニ如何裡若梢アル共余ノ若梢中段ヨリ生タル相ヲ取成レ不苦出生身木先ニ若梢アル木ノ本中段ヨリ若梢生スルモノ

○異説ノイニ曰桃斗ハ楚斗

リ生スレ不苦根上リノ楚ニ花

咲クアリ是余ノ阳木トハ異ニト



○此花形同前



○此花形同前... 此花形同前... 此花形同前... 此花形同前... 此花形同前...

○柳惣シテ條ル類ハミナ陰木ノ

口イニ曰競イ登リタル処

迄ヲ身木ト取ル花器ノ

寸ヲ公毎タル枝先ヲ

三丈迄限ルト知ル

ハ...



夫ヨリ短ハ見合何ニシテモ不苦阴阳口イ曰

競ヒ登タル枝ハ阳條テ地ヲ差タル枝ハ阴亦前工勢カイ名梢ハ

陽後工勢花枝ハ阳是阴阳ノ氣形之此上ニ種々口イアリ...

○柳ヲ生花ニ遣フロイ曰都テ生花ハ蒼無モノヲ遣ス柳斗ハ遣フ

ノ口説曰冬至ニ葉ヲ榮シ夫ヨリ四月迄六陽ヲ榮シテ葉ハ

皆開クモノ之久ク至ハ地雷復

気形之柯條ニ此形ヲ

備テ生之然ルニ一陽

ヲ榮ルル草木ノ

内ニテ柳ヲ主トス依テ

緑ヲ弄ヒ緑内斗遣イ

葉兩イテハ遣ス極秘イリ皆口説故ニ不記



○柳ハ十月中旬ヨリ三月中旬迄
一陽來復正ノ枝陽ト通ノ一
枝ノ陽ト向イカ裡ヘカツ向ニ
合様ニ此間ニ十枝ノサワラ又様ニ
生ルナリ

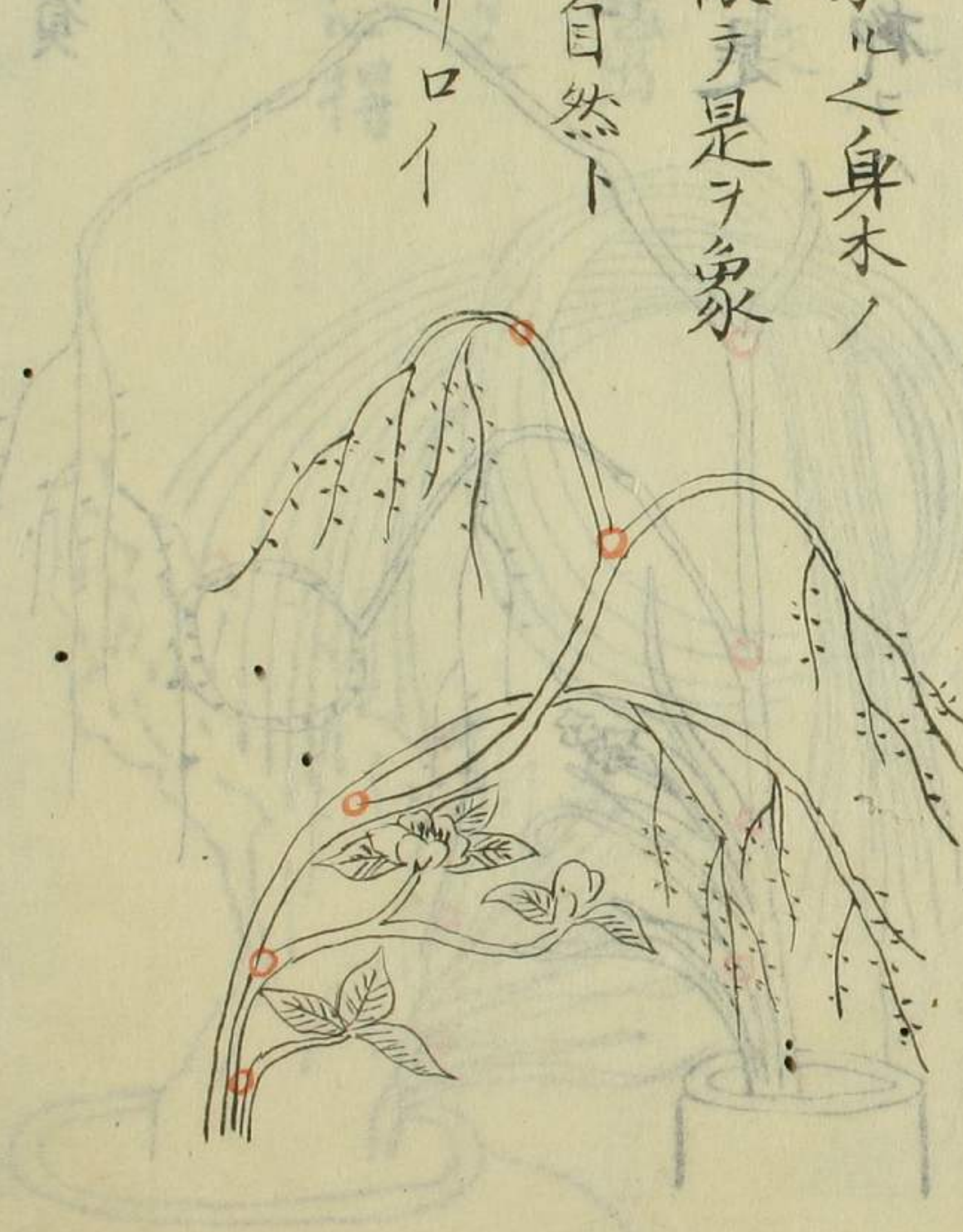
○柳ハ陰木ニテ氣形陽ニ顯ヒテ種々ニ狂フ質之小條地ヲ指シテ形ヲナス

是故ニ陰木ト象ル之身木ノ

狂フテ曲ヲナス依テ是ヲ象

眼ノ不ト云小條自然ト

象眼ヲ成テアリロイ



○柳ハ陰木ニテ氣形陽ニ顯ヒテ種々ニ狂フ質之小條地ヲ指シテ形ヲナス

是故ニ陰木ト象ル之身木ノ

狂フテ曲ヲナス依テ是ヲ象

眼ノ不ト云小條自然ト

象眼ヲ成テアリロイ

○縮柳條ノ口説ニ曰漢土ニテ錢別ノ時柳ヲ縮テ重テ又逢フ

支ヲ契リテ實

主メカイニニ條ヲ

縮テ陽関ノ曲ヲ

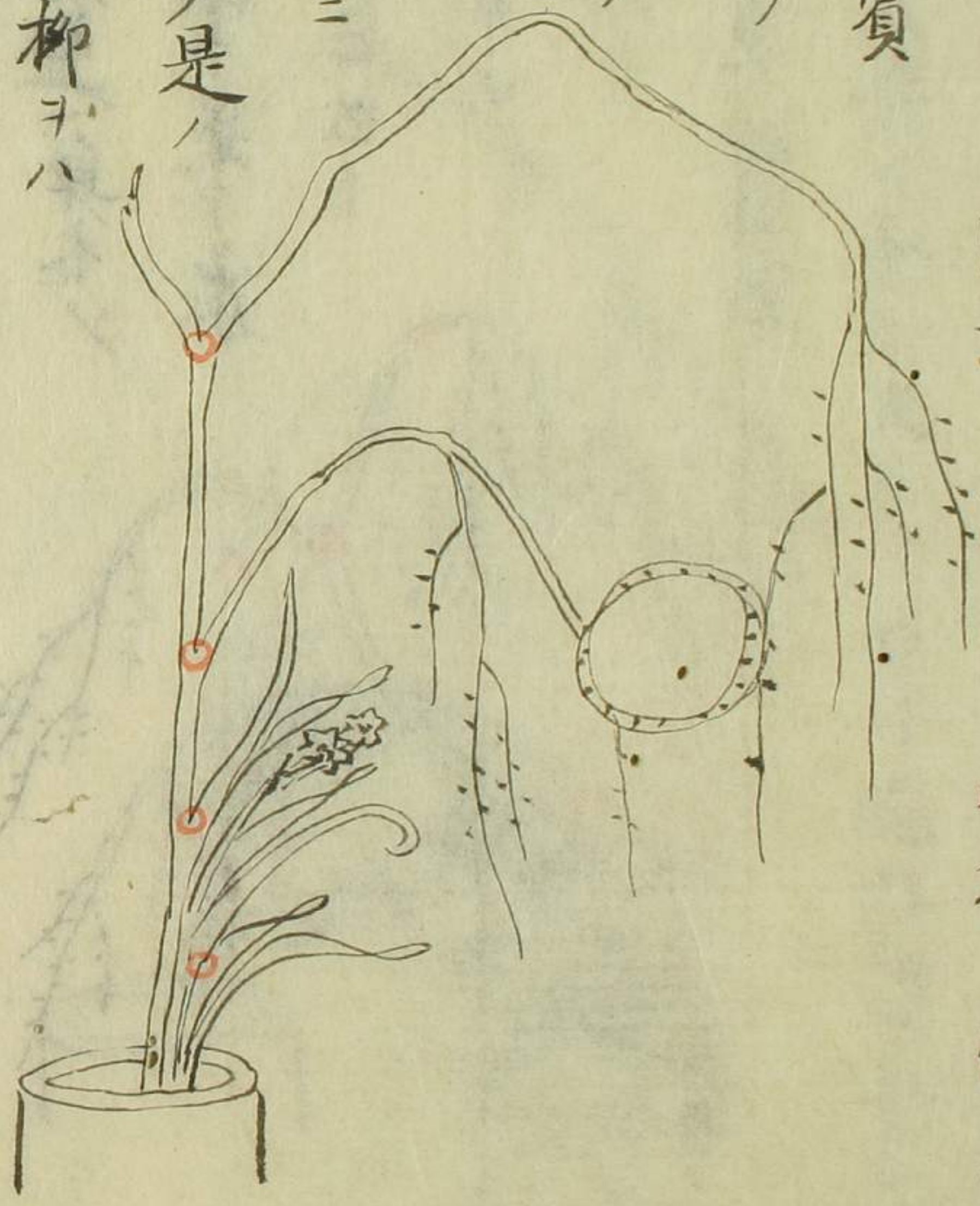
唄是時縮ルニ

手ノ遣方処作ニ

甚ロイ有依テ是ノ

故支ニ任テ甚キ柳ヲハ

縮テ生ルノロイ有別



○身木甚タ太ニ數條柯アルヲ一縮ニスルノ有是一縮千條ノイト云

ノ上手ノ所業之

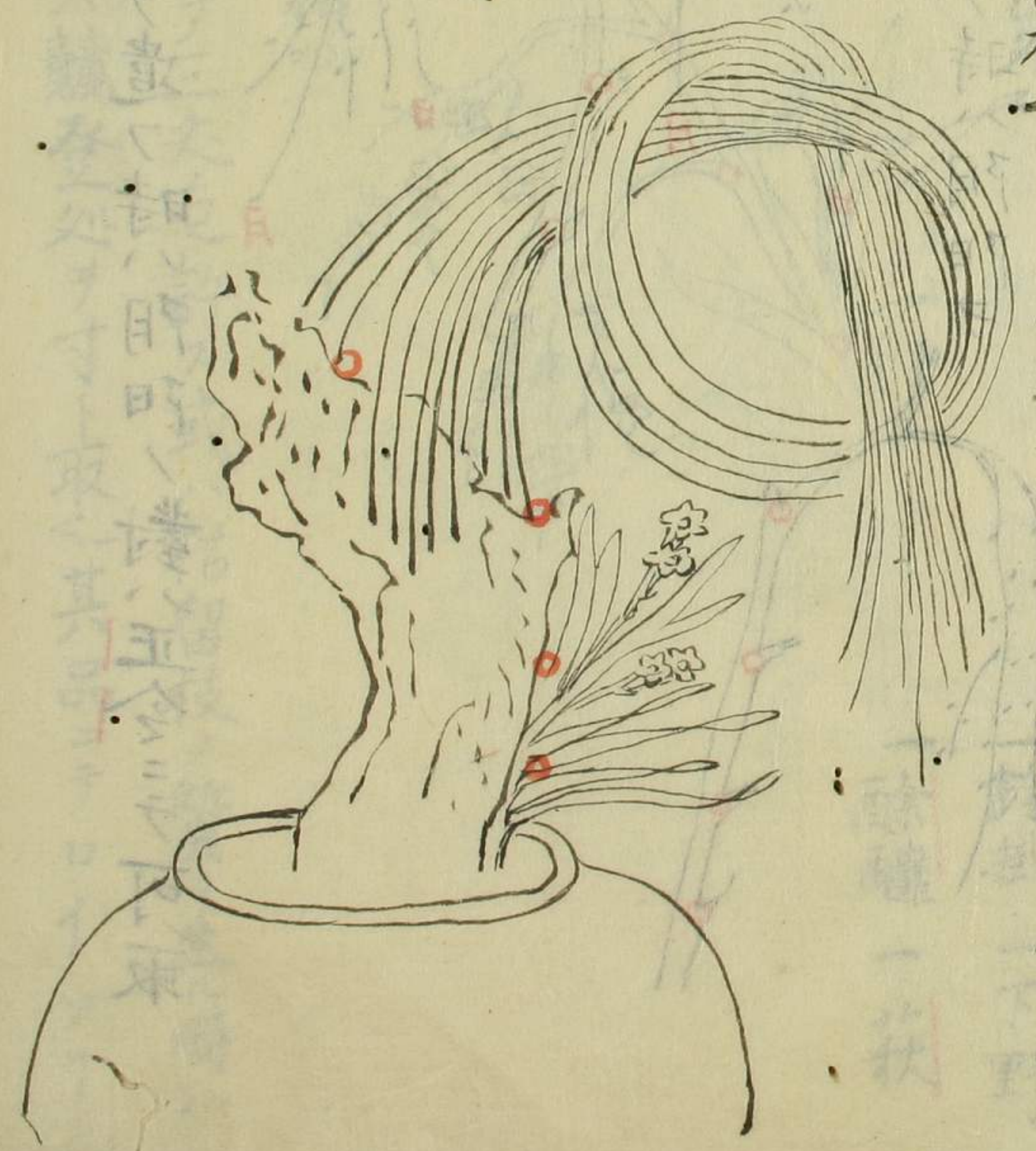
他流ニ柯斗リ數

木遣フタルアリ甚出

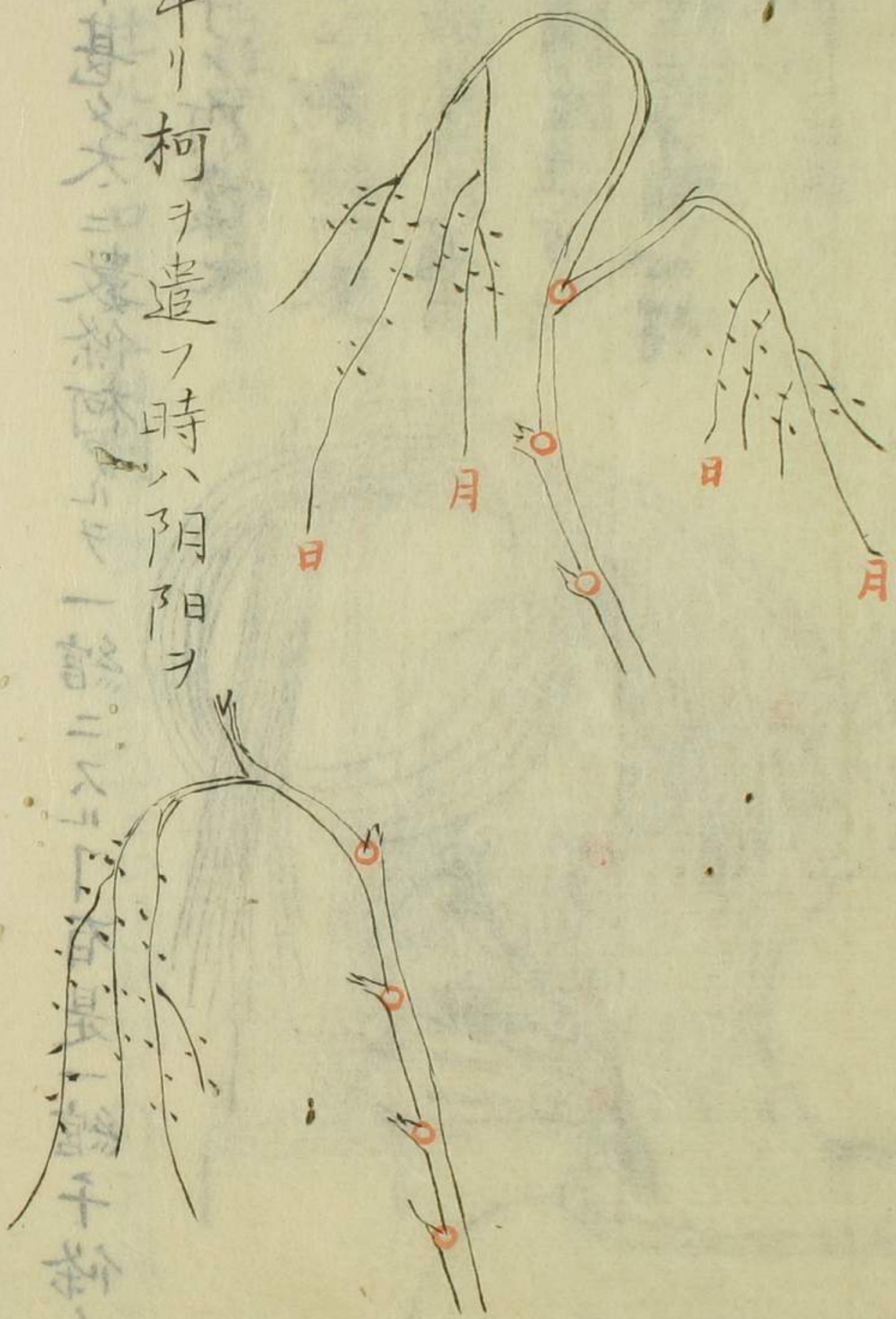
生ニ肖タル生方之

當流ニテ不用心得

アルベシ



○正花令ニ斗リ柯ヲ遣フ時ハ阴阳ノ對ハ正令ニテ可取



○正花斗リ柯ヲ遣フ時ハ阴阳ヲ遣之

○黄梅蓮翹連珠三シタ

是等ノ類ハ皆麻モノ

口ニ曰

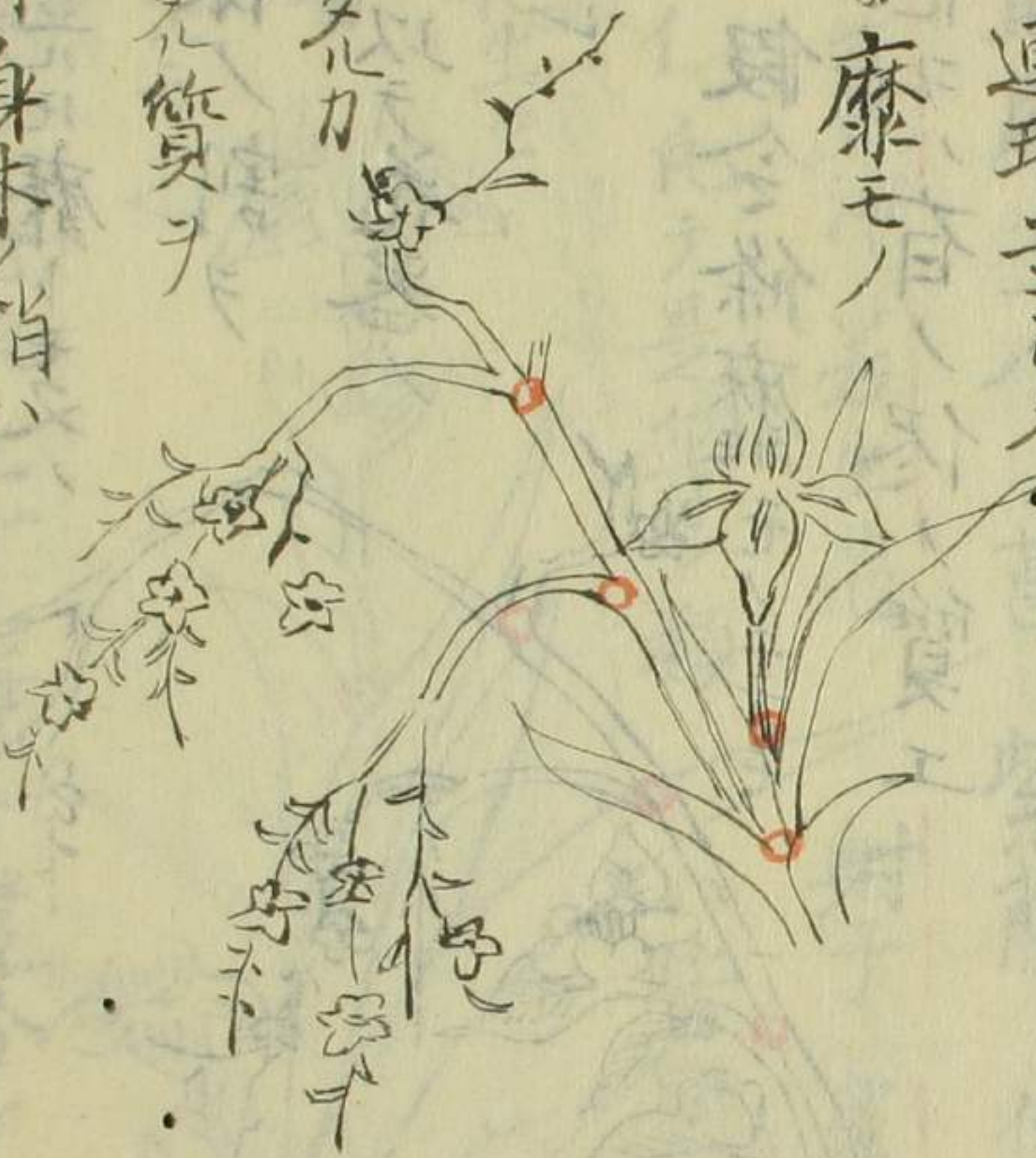
身木ノ梢折カカ

枯カカ行止リカ實ヲ

生成ニ二イ有身木ノ梢ハ

正花ニテ寸ヲトル通ニテ三丈迄許ス或ハ枯留枝ノ實ヲ生ル時ハ

正花共ニ長ク遣フ此時ハ競登処ヲ寸ト取之其品ニテロイヤリ



一鈴掛一下野

一醪醪一秋

○異説ノイ曰木ナトニカラミナリ

タルヲ八條モノ遣方ニモスル也

條ハ競イ登ルニ靡トモ又ハ

毎ルニ九体ノ割ヲ

ワケテ割ヲ以テ花器ノ

寸ヲ合スベシ

別イニ曰假令條靡モノニテモ

直ニ生シタルヲ有ノ終ノ質工

出生ヲ付テ可生云



○蕙子花 鳶尾 一八 菖

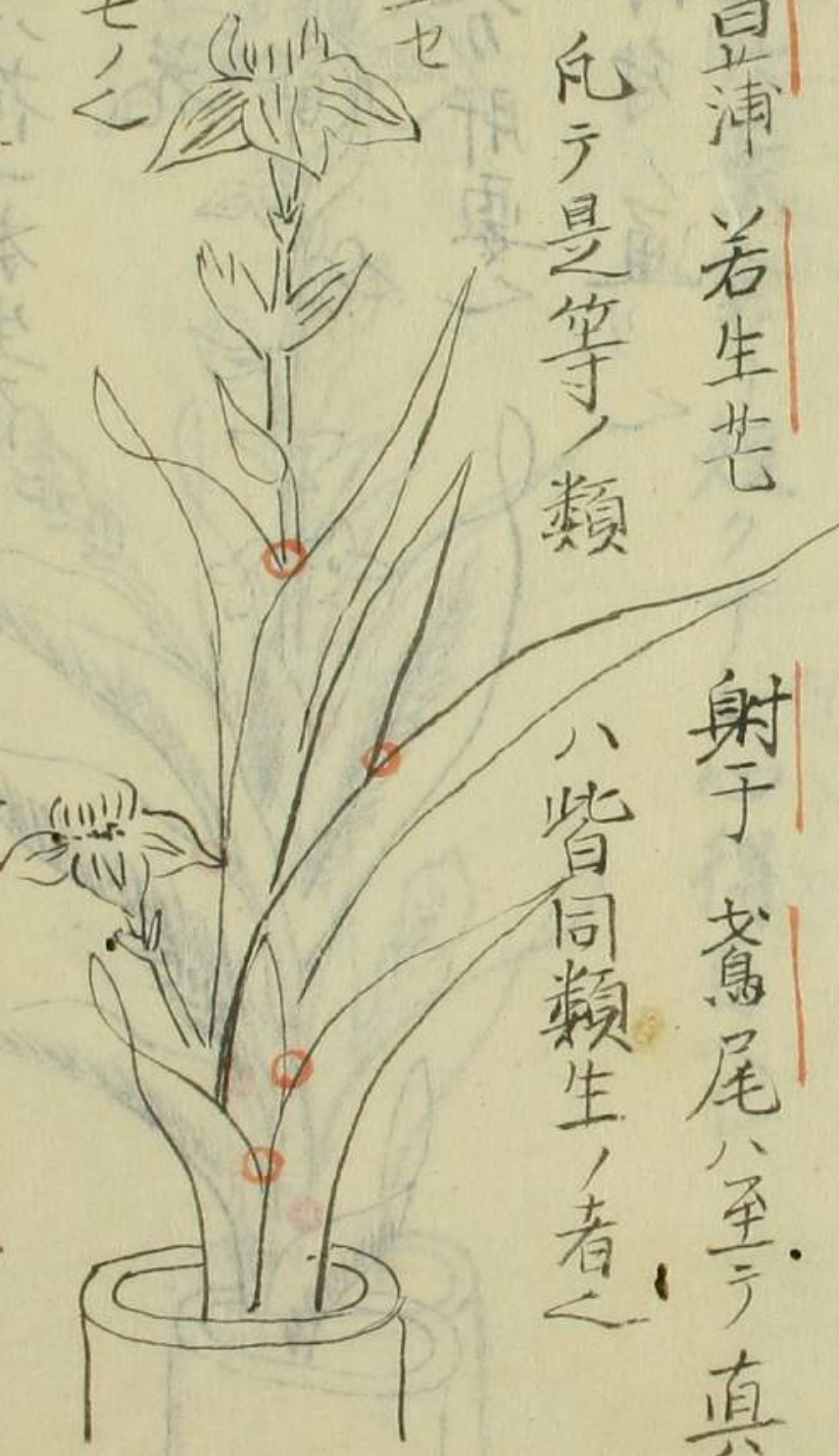
岩石蘭 花菖蒲 若生芒

スルモノ之 口イ凡テ是等ノ類

口イ曰未花生セ

ナル時ハ葉皆

蛇腹ニ生スルモノ



紫蘭 他偷草 丁子草

射子 鳶尾ハ至テ真葉短ク生

ハ皆同類生ノ者ニ

因テ花ノ葉ト蒼未生ナル葉ト遣分ケアリ花生スルハ左右ト

葉莖ヨリ差ワ花ナキ葉ハ蛇腹ノ又傍葉ハ葉數ニ入レ莖

ト成タル葉斗葉數ト可合

○他偷草ハ花伸テ真葉

其真葉細ク其真葉ヨリ

一莖此類ハ花一本生スル

者之依之テ花

幾本遣ヒ

一莖々ノ遣分肝要之

初盛残ハ体付ノ通リ之



細ク生スル者之

蛇腹組始ル之

○一ハ一本ニ花幾輪モ付モノ之花ノ丈余リ伸又者之蛇腹出生
ハ同様之是ハ真葉余リ短クナシ心得有ヘシ



紫蘭 他偷州

此類ハ真葉細ク生スモ

依テカシ前後トヒ子リ

テ葉ヲ組テ遣フ

紫蘭甚花

長ク生スル者之少シ

花ヲ下シ縮メテ遣フ

都テ出生ヲ能ク考遣ヘシ

岩石蘭

阴阳ト葉

生スル相左右ト生ル者之



別イ有

牡若此出生モ蛇腹ノ者之凡テ狀類ハ葉崩シテ遣フ時本

ノ如クノ出生ニ組直シ

下ニ段ヲ以テ初盛残ヲ

分ハ令ノ花腰ニ臺

ヲ居テ對スル

時ハ珍花之

二寸上リテ臺ヲ居レハ盛花之四寸上テ

臺ヲ居ル時ハ残花之葉モ出生ノ終ニテ生ルハ本意之然レ長短

合ガキ時ハ崩シ遣フ之崩トモ本ノ如ク組直シテ出生ヲ生成ハ不苦



○葉組ノロイ曰正花一本体留一本是阴阳ノ二本之正ノ下ノ
 葉ト体ノ二牧トニテ通ノ一本ノ葉組ヲ象之
 令葉斗花ノ葉之 是珍花之



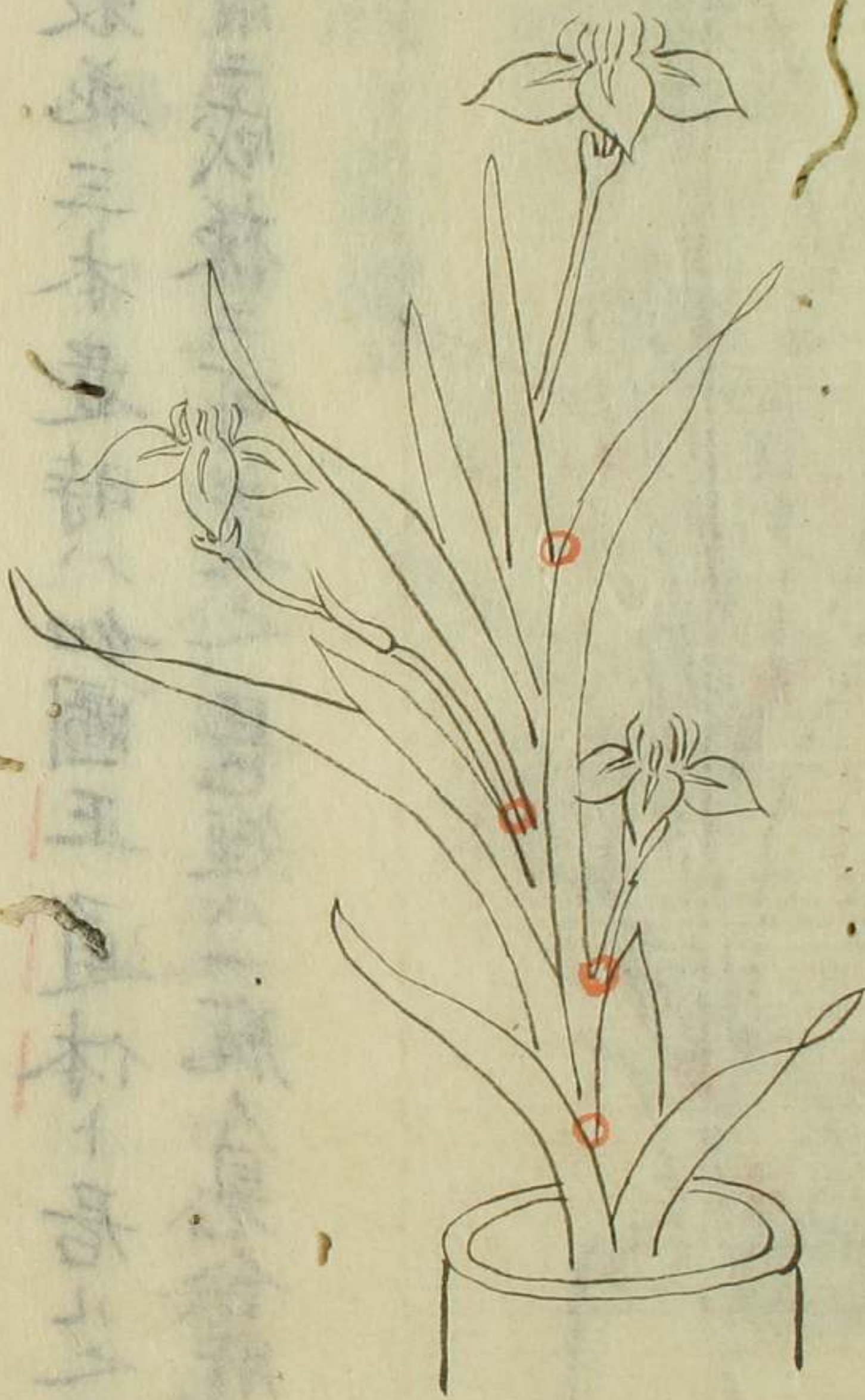
充初盛残花ニ
 葉ノ組直同
 様ノロイアリ
 盛花ハ正ノ組ヲ崩裡工
 廻シ遣フ斯山崩シテ遣フ時花ノ葉ニテ遣分ロイ有花蛇腹
 手ヲ以テ分ヲ秘イアリ

○牡若 葉七枚花三本遣時ハ如圖正通体ト居ル之充花
 三本ニテ三角ニ成様ニ可遣之長短ハ一瓶ノ見合肝要之



此圖ハ残花
 時葉崩シタル
 時体留若生ノ相
 ヲ遣フ至テ小キ三枚ヲ遣フ之ロイ有花ハ上段ニ居ル之

○蒼幾本遣フ正通体ノ割ノ崩レザル様ニ可心得之尤葉數沢
 山ニ遣フ時ハ阴阳五行出生ノ組葉ニス之或ハ葉數少ナク
 生ル時ハ崩葉ニ遣フ之花三本遣上ハ各崩レ葉ニテモ不苦



○此花三本遣上ハ各崩レ葉ニテモ不苦

○皮ノ花体花ニ本葉十三枚此花体ハ正ニ牧通ニ牧体三枚令ニ枚
 留ニ枚留只体ノ真葉ヲ留ノ 真葉ニシテ一組ト取成口ノ



○此花三本遣上ハ各崩レ葉ニテモ不苦

○五枚ノ生方葉組ニロイニ曰正体留ト組之

尤体ノ通ノ葉ヲ上セテ本ノ五行ノ通ノ葉トスル之

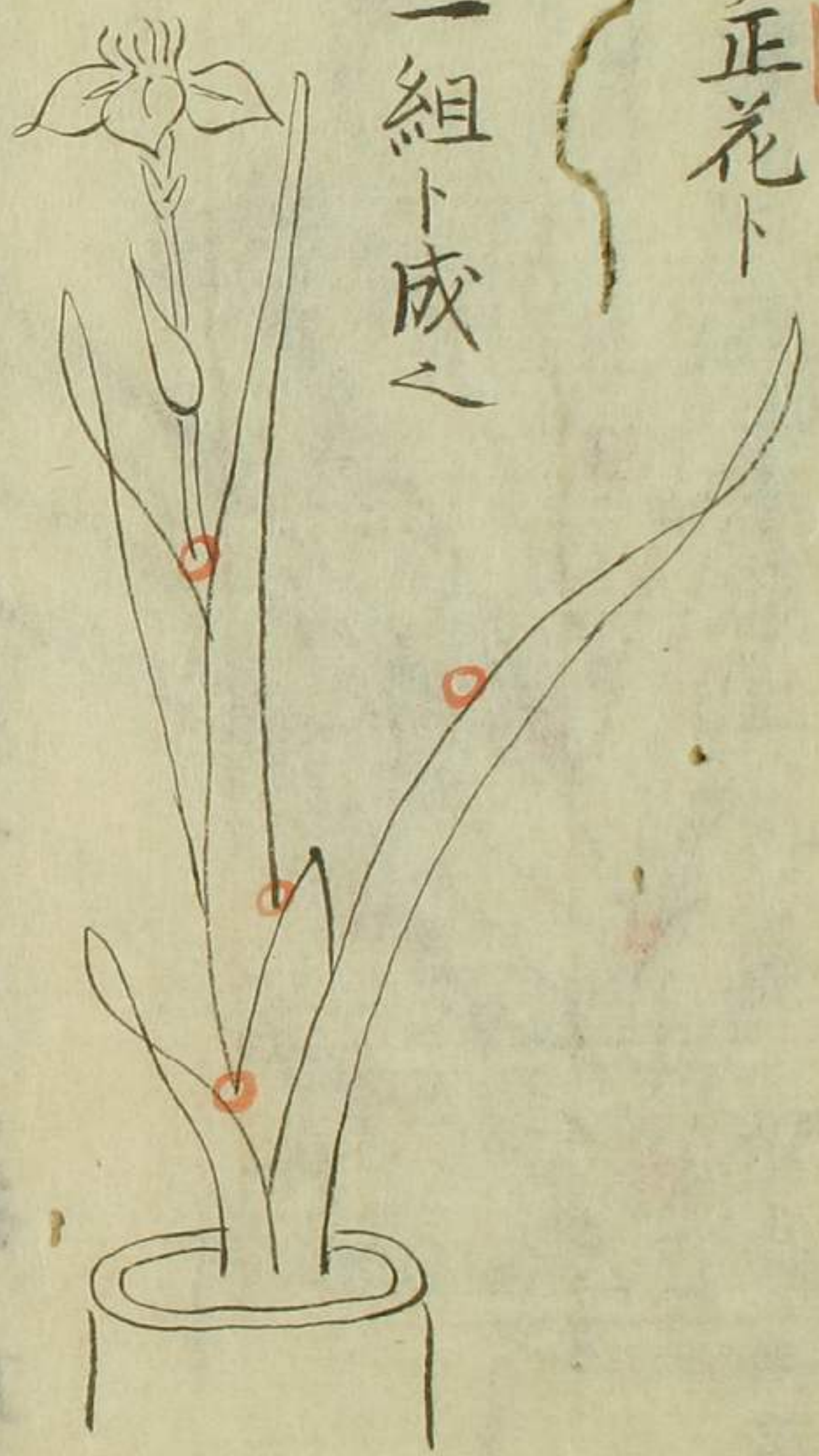
正ノ葉一枚崩レテ正花ト

十ル之

通体留ニテ蛇腹一組ト成之

花ハ初盛残ニテ

居ル之



○此花ノ生方葉組ニロイニ曰正体留ト組之
尤体ノ通ノ葉ヲ上セテ本ノ五行ノ通ノ葉トスル之
正ノ葉一枚崩レテ正花ト
十ル之
通体留ニテ蛇腹一組ト成之
花ハ初盛残ニテ
居ル之

○此花形ハ五行ノ送り体ト云フテ

曲体ノ正花令通ヲ本座ニ靡セ

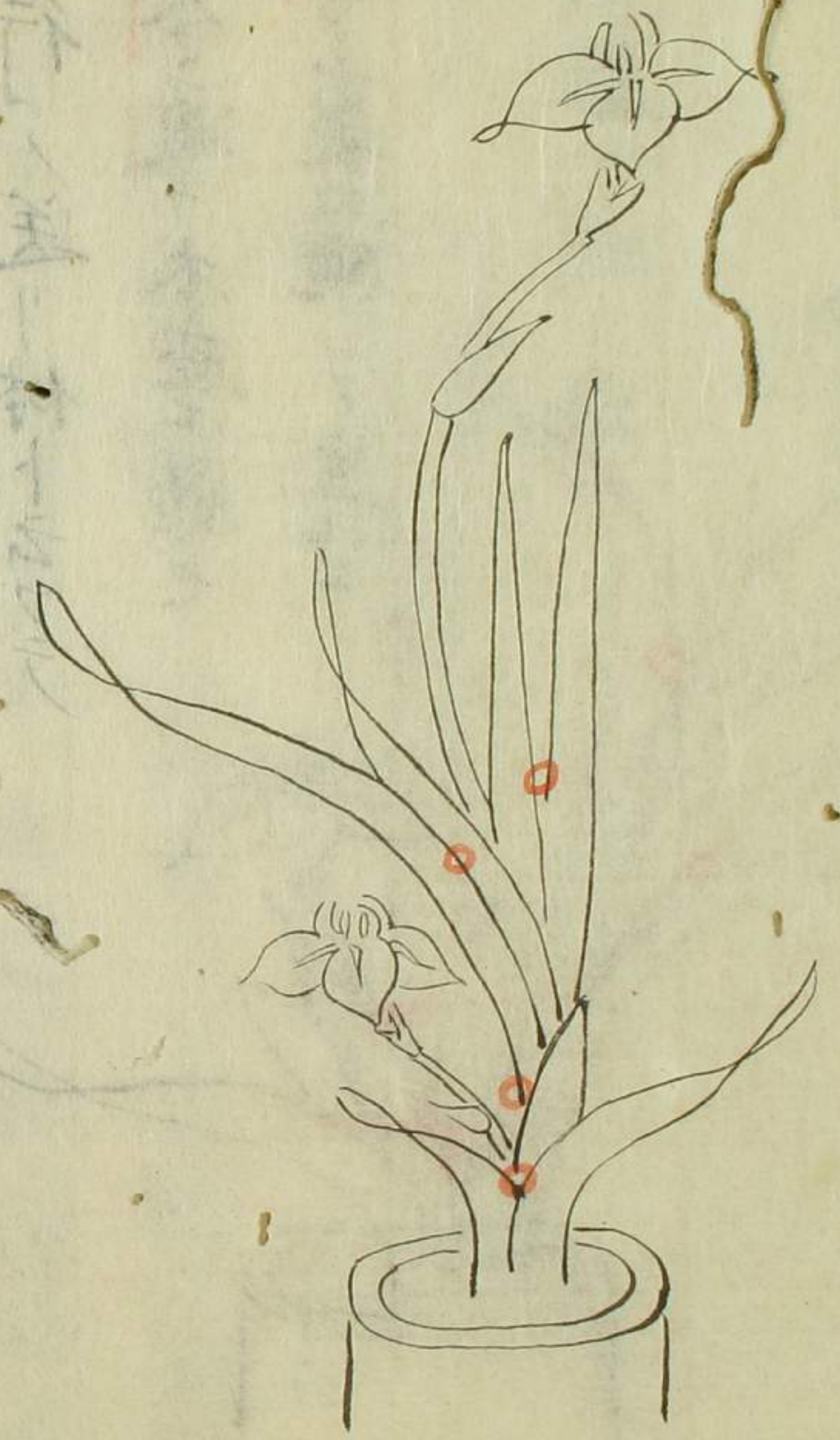
テ遣イ体留ヲ裏ニ廻シテ生ルニ

口授アリ

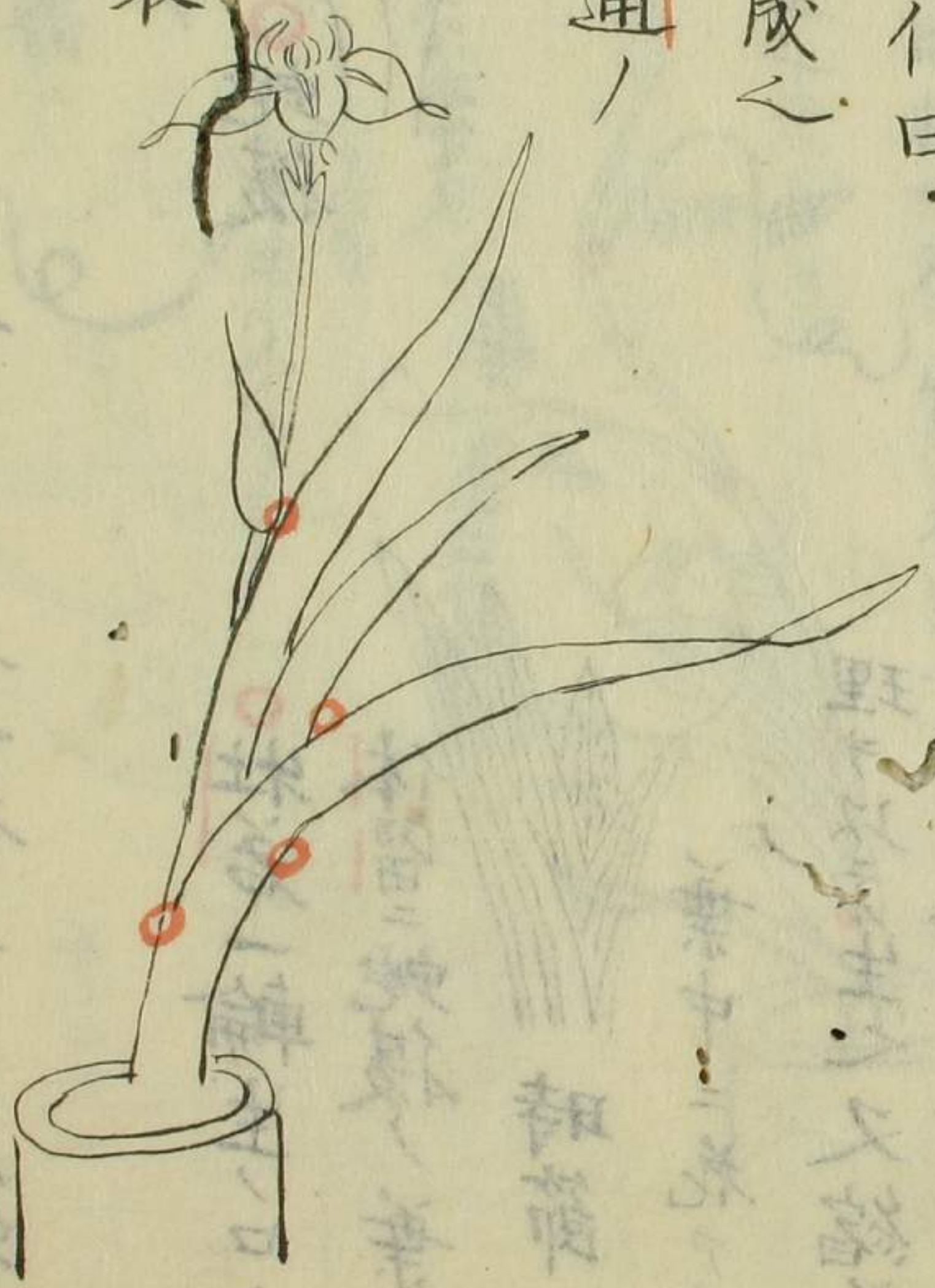


○此花ノ生方葉組ニロイニ曰正体留ト組之
尤体ノ通ノ葉ヲ上セテ本ノ五行ノ通ノ葉トスル之
正ノ葉一枚崩レテ正花ト
十ル之
通体留ニテ蛇腹一組ト成之
花ハ初盛残ニテ
居ル之

○此體ハ正令ヲ葉ヲ短ク遣イ通ヲ葉ヲ長ク遣イ通ノ坐ヨリ
 花ヲ上セテ正ノ本座ヲト止之然レモ花形ノ働キニロイアリ



○**菴**本葉三枚ロイ曰
 出生處ノ葉ニテ生成之
 体留ノ坐ヲヌキテ通ノ
 坐ヲ取令ノ花腰ヲ
 付之令ハ傍葉欵
 菴ノ莖欵ニテ可取
 稔イアリ



Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '稔イアリ' and '花腰'.

○惣シテ右ノ類ノ葉ノ生スル相ハ皆同様ノ

蛇腹ニ生スル此蛇腹ハ未夕花生セサル葉ノ花生シテ后蛇腹崩シテ

葉ハ左右ニ

分ルモノノ

故ニ卷ノ

葉ト花生

セサル葉ト遣ヒ

分所要ノ

○蛇腹



○牡若一輪生ノ口イニ白

体留ニ蛇腹ノ葉ヲ遣ハ

時節故ニ此

葉中ニ花アリト云フ

理ヲ以テ生之又縮葉ヲ遣

フ了秘イ有

○藤葱シテ蔓物皆同様ノ花艸ハ格別ノ

正通陰陽陽ヲ象レ之

又正令氏象之

花ハ本ヨリ咲

次才ニ指ニ至ル

初花ト未夕花ト

ニテ陽陽ノ出生ト云

又口イ有葉ハ幾

所工配ル氏陰陽ノ數ヲ合ス之身木競ヒ登リ名所迄ヲ花器ノ

葉ト取之花陰陽ノ出生ハ口イ別ニ有



○藤谷越ノロイ曰藤ハ此ニ生シテ身木這テ彼ニ根ザスモノク

因テ余草余木ハ花器ノ

中墨ヲ越ス蔓ヲ林ホス

トイ工匠出生ニ任テ

中墨ヲ越シテ

花器ノロヨリ下工

蔓先下リテ又蔓先競ヒル

様ニ成ク花ノ葉ト葉

蔓并キト蔓先陽対ハ如前



○江浦州珍花ノ時ハ一歳成長ノモノ故花器ノ寸三丈迄遣ヒ

不^可分^令ニテ花器ノ一丈^欵一丈半^欵ノ寸ヲ取ク直ニ生スル物故

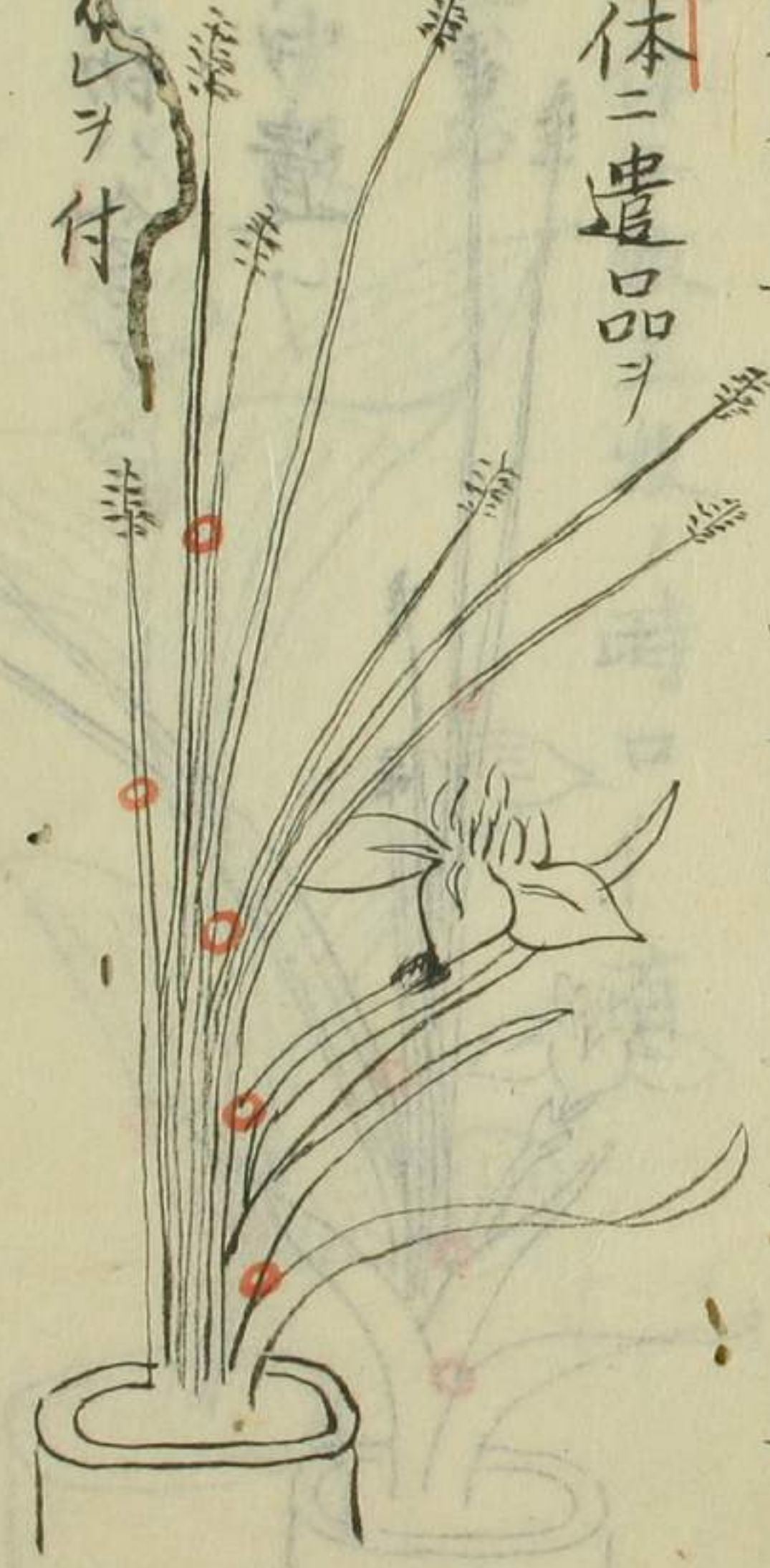
分レ付ガタキ時体ニ遣品ヲ

上セテ本ヨリ

分レタル所ヲ

補フテ通ノ分レヲ付

入シロイアリ



○此種ハ表ノ如クハ五丈

○此類ハ残花ノ時ハ正花

ニテ寸ヲトルナリ

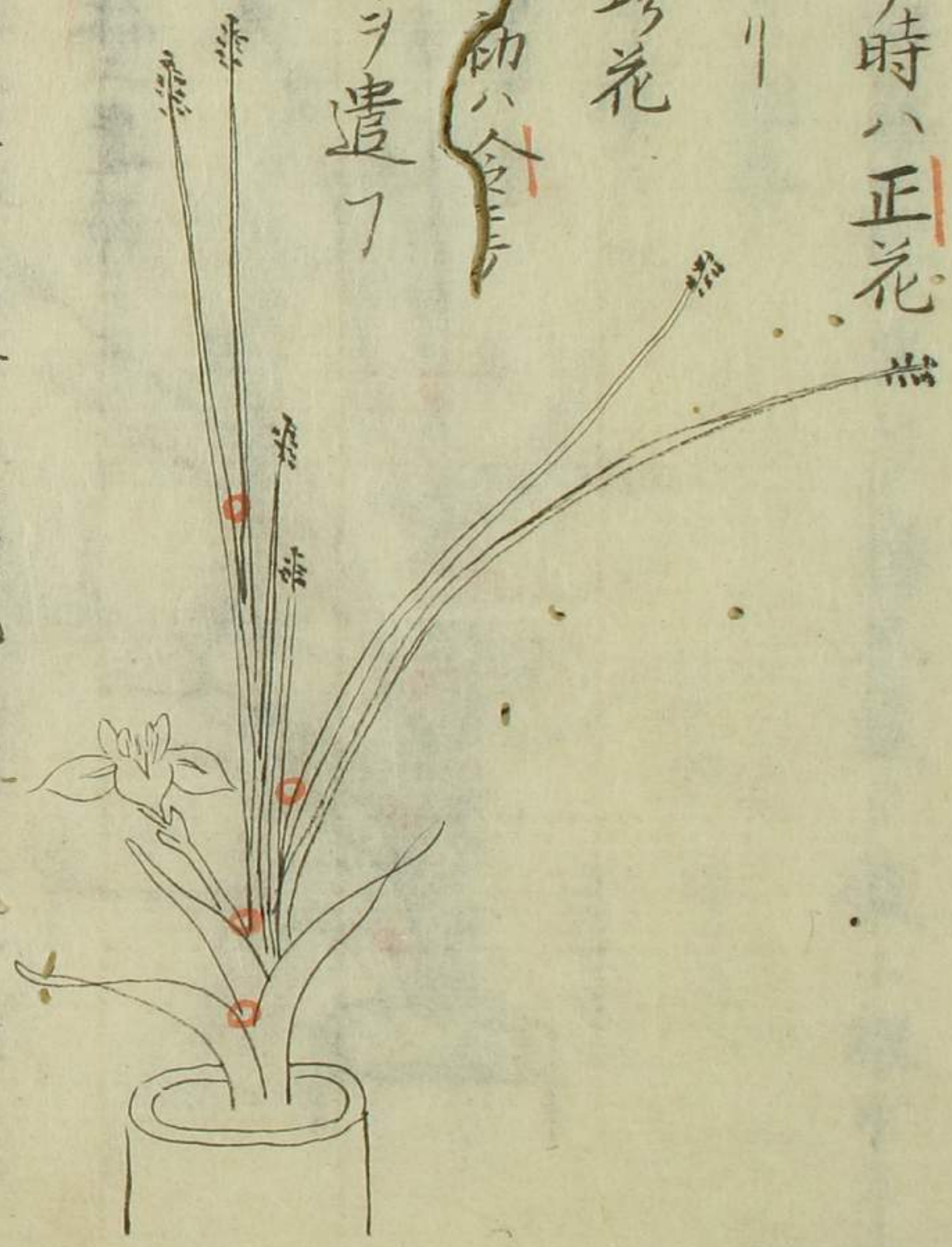
去大迄許ス珍花

残花ノ口ハ白初ハ合

寸ヲ取苞ナキヲ遣フ

是若生ノ

質ヲ顯ス



果次第第二生ズル質ヲ表スル之残花正ニ寸ヲ取跡ヨリ生セ

其ルヲ表スナリ 一葉肉厚ハ...

○葱鳳花 石菜 紫苑 蓮 河骨 沢浮 此等ノ類ハ

皆同生ノ 五枚遣フ時ハ五体ニ割ナリ

七枚ハ正ニ枚体ニ枚三枚ノ時口イ有

葱鳳花ハ上ハ若

葉ニシテ中葉中段

ハ大葉下段ハ

葉ヲ遣フヘシ出生ヲ

能々見テ考知ベシ



○凡テ此類三牧ノ時ハ留

ニテ体ノ質ヲ兼体ニテ

通ノ質ヲ兼正花ノ葉ニ

七分ニ分イ

割ヲ付テ三分

合七分正花ノ

割ヲ付ヘシ



○花ヲ遣ロイ曰正通体ハ何レ工成花体ヲ考遣ヘシ

体ニ花ヲ遣ハ葉ヲ通ニ上テ遣フ是ヲ推テ知ヘシ



○蓮花ロイ曰根ヨリ立荷葉生ノ後花ヲ生ス根ヨリ生スルニ前後

ノ差別ナレ何レ正花ヲ遣フ正不苦然氏陽阻ノロイニ曰正花ト

留ノ内ニテ陽阻ノ葉ヲ備ル

之蒼斗リ遣フ時ノ

ロイ曰花ヒラヲニ葉用

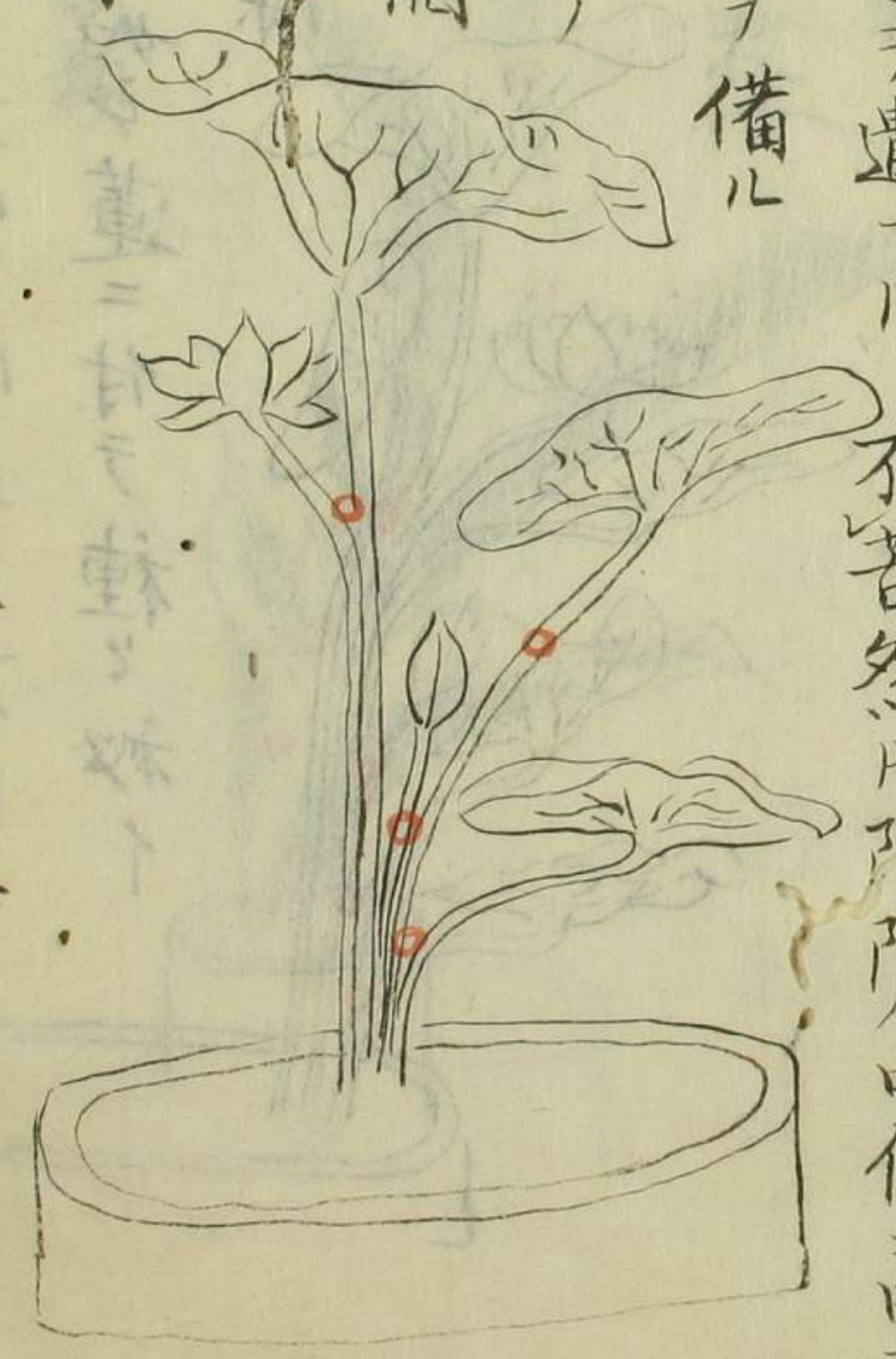
テ遣フ理味有秘イ

故ニ不記三牧遣フ時

ハ送体ニ生ル如前又花ニ本葉三牧ニテ五体ニ割テ生ル正不苦

差畧所要ニ

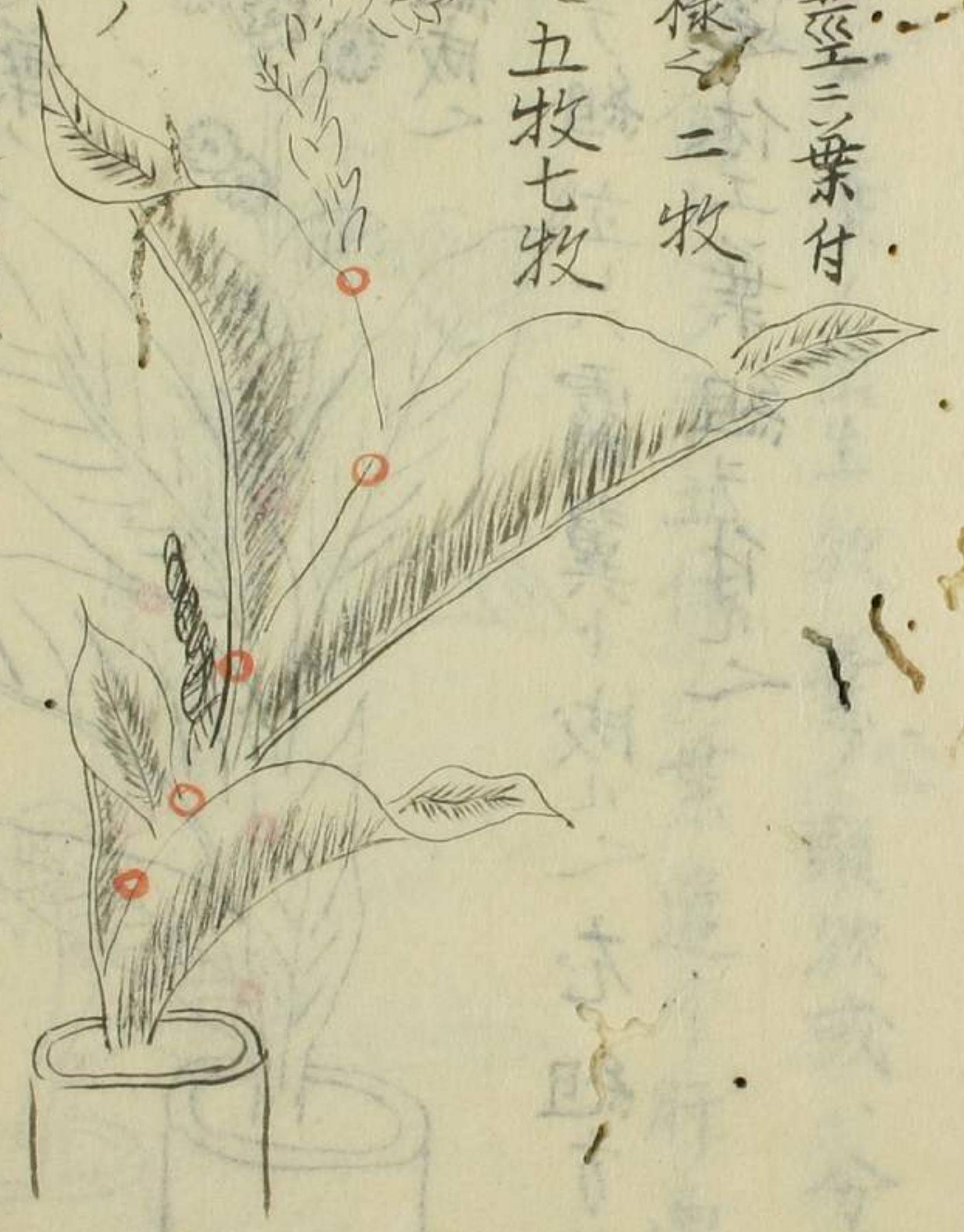
○英ニ牧用キカケルハ心ノ表形ニ



○如圖葉五枚花三本二本遣フ片葉ニテ五体ヲ
 割花ヲハ質ニ遣フ一右宜ニ隨フヘ正体留ハ
 附附ノ葉遣ヒ前ノ如シ蓮ニ付テ種々秘イ
 アリ重テ傳テ花水除
 論生諸流通途ノ
 イアリ



○檀特物シテ莖ニ葉付
 凡大葉ハ皆同様ニ二枚
 遣フ時ハ送体ノ五枚七枚
 ノ時五体ニ割ヲ
 付テ遣ヘシ若
 長キ時ハ旁葉ノ
 一所ヨリ切下テ縮ルノ同類
 生ノモノ何レモ同様ナリ



○紫苑 莖ニ付タル葉ハ比白雷鶴翼ニ

生スルノ雷鶴翼ト云

ハ世ニ云雄羽ノ夏ノ葉ノ

中筋ヲ花

腰ヨリ上ハ

隠サレバ様ニ組成ノ

五体ノ割ヲ以テ組立シハ雷鶴翼ト成ルノ左組方ハロイヤリ

三枚遣フ時ハ送体工葉組ヲ付ルノ



○水葵 是ハ袴狀葉ノ出生欵葉ノ頭欵或ハ分レ付莖

ナレハ分ヲ付何レニテモ五体ノ葉遣イ肝要ニ



Vertical text on the left side of the page, likely bleed-through from the reverse side, including characters like '水葵' and '葉'.

○河骨ハ送り体キホウシノ如ク花ヲ五体工何レ工成凡
 居テ不苦是出生之
 小葉ヲ下ニ遣フ是イ之



○本草具ハ...

一蘆葦 芒カ類此ルイハ四方工葉ノ生スルモノ之 莖ハ直ニ生スル

モノ故ニ五体ノ出生分チガタシ正令通凡ニ一ノ葉ニテ分レ付ル之

口似ニ曰通ノ葉ハ隅工居

令ノ葉ハ莖ノ裏工

備エテ令通

ノ本体ヲ備テ

余ノ葉ハ時ノ宜ニ隨イ何レ凡

可遣之花器ノ寸ハ莖ノ内ニテ取一丈欵一丈半之

葉ハ何レ裡モ甚ク遣ナリ



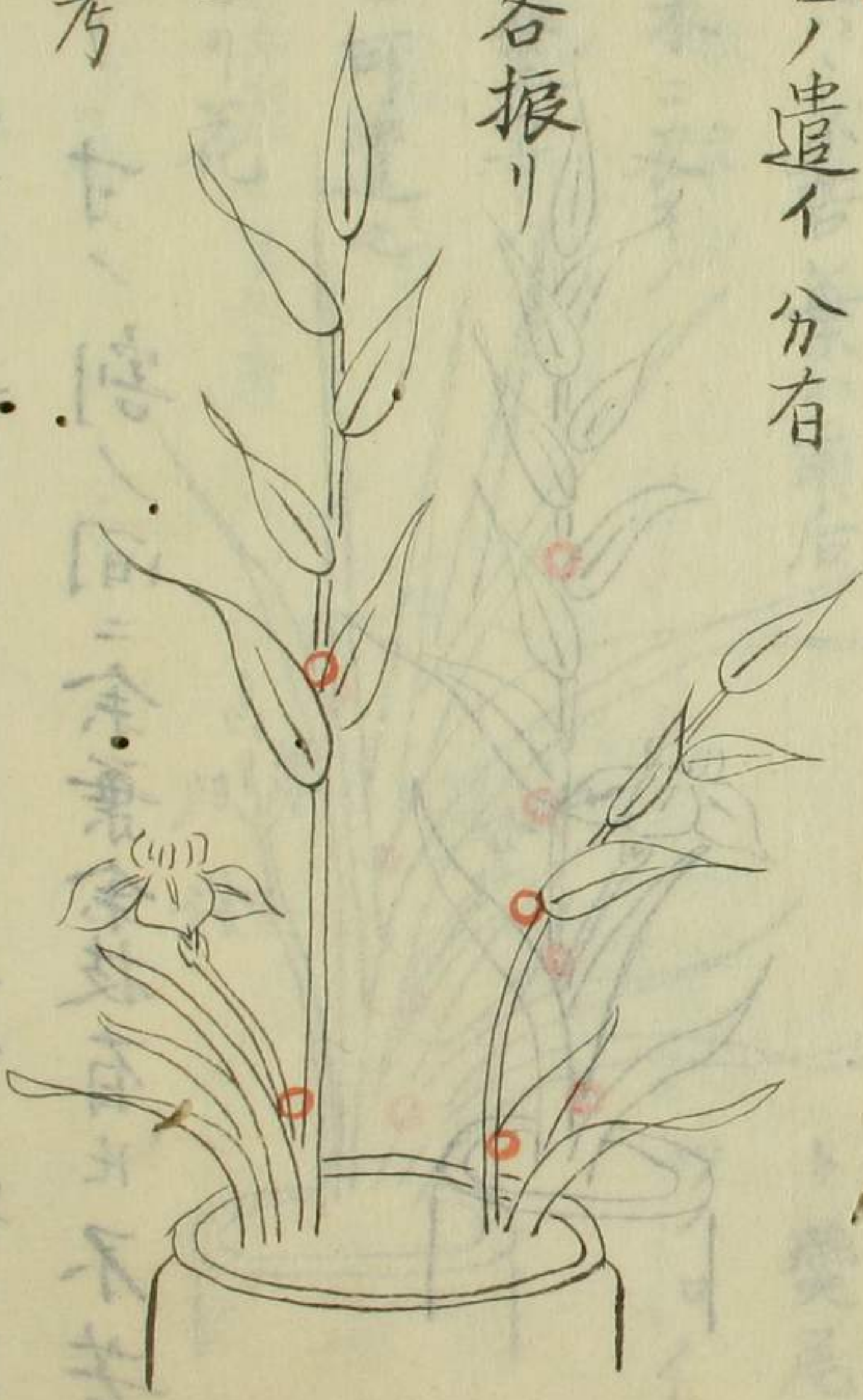
○如圖ハ靡タル莖ヲバーノ葉ニテ寸ヲ取ニ限ス莖ノ分レニ
テ分ヲ付ルニ



一莖ニハ... 葉ノ... 莖ノ... 分レニ...

○蘆 葦ニ飛根ノイト云々曲有此種ハ此ニ生シテ彼ニ根指ス一有
因テ出生ニ任テ本形ノ花器ニテ主坐客坐ト引齊テ生之を通用
ノ葉ニテ体留ノ遺イ分有

口芥
通ノ葉主客振リ
様ハ
体留ノ三角ニ
成ル様ニ可考



○... 葉ノ... 莖ノ... 分レニ...

○ 芦ノ類ヒ凡テ四方ニ葉ノ生スルモノハ五体ノ割ヲ崩レ又様ニ
 出生モ質モ具リ 寸ノ割ノ間ニ余葉余枝有レ不苦



○ 蘆ノ類ニハ凡テ四方ニ葉ノ生スルモノハ五体ノ割ヲ崩レ又様ニ
 出生モ質モ具リ 寸ノ割ノ間ニ余葉余枝有レ不苦

○ 蘭 星景此類ハ葉ト花ト別モ生スル

者ノ葉ヲ面白ク遣フテ花ハ出生ニ
 不ク様ニ遣ハ不苦葉ハ前後

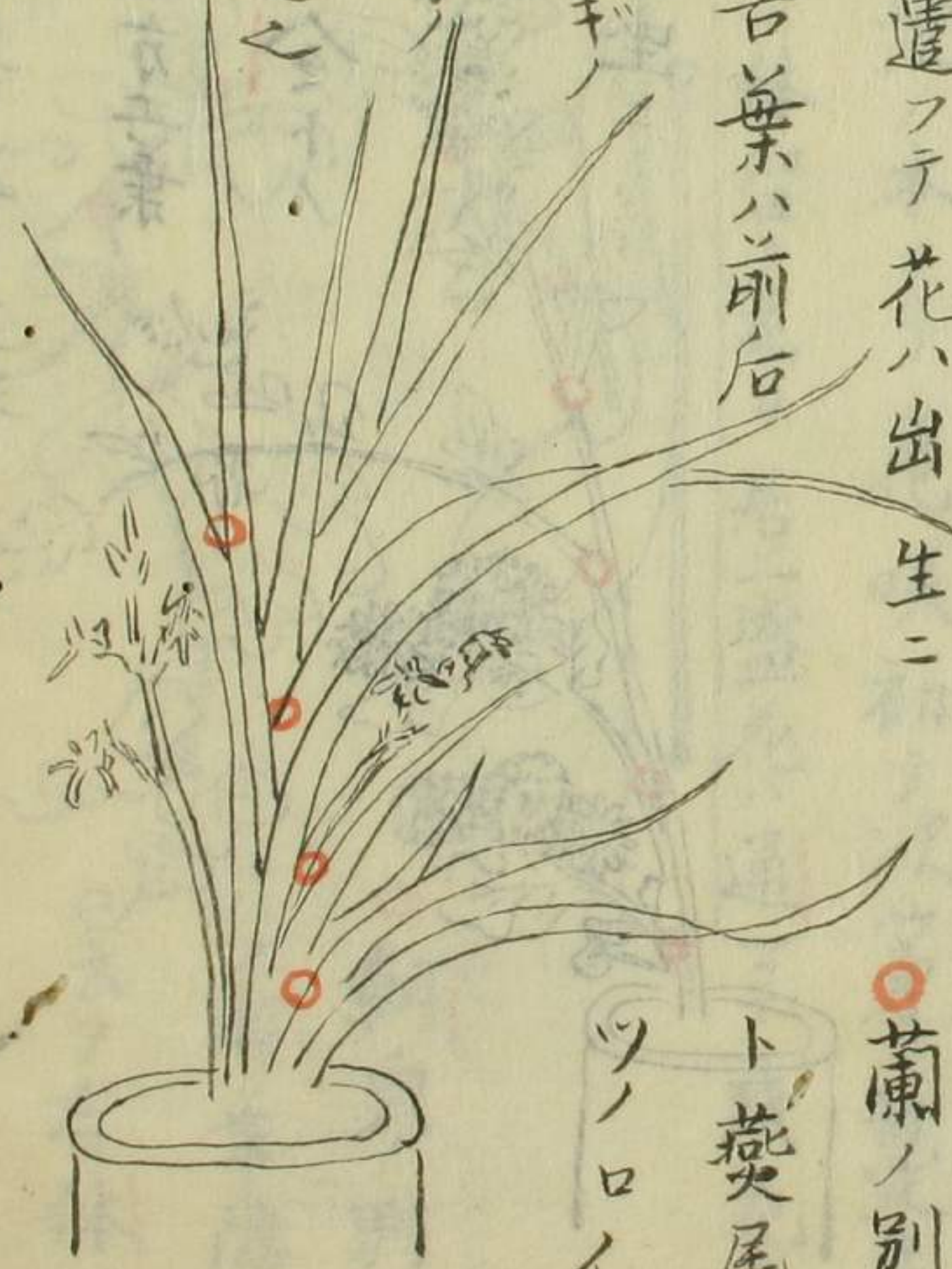
小包ニテ莖本ニ又キノ

葉アリ一莖ニ莖等ノ

能々分ル様ニ可遣ク

葉ノ莖ノ外ヨリ花

ヲ生スヘシ



○ 蘭ノ別イ曰象眼
 ト葵尾鳳眼トノミ
 ツノロイアリ

○ 蘭ノ別イ曰象眼
 ト葵尾鳳眼トノミ
 ツノロイアリ

○萩口イ曰梢ト枝花トノ遣分肝要之條モノト靡^{ナヒキ}モノトニ通ス

出生ノ相ニヨル之花器ノ寸并ニ三丈ヲ

許ス等ハ如前若二方ニ葉

生スルモノ故ニ通ト令トノ

間ニ葉ヲ置時

八目立モノヲ右ノ本坐ニ

象ルヘレロイ有



○蒲 四ノ吹ノ葉ハ一葉ノ時ニ一葉ノ時ニ

○薺 益貞夕顔 鉄山 風車 漢露等凡テ蔓物ハ皆下段

モノニシテ同生ノ蔓ノ本ヨリ 咲初テ次第ニ蔓生ル工咲共

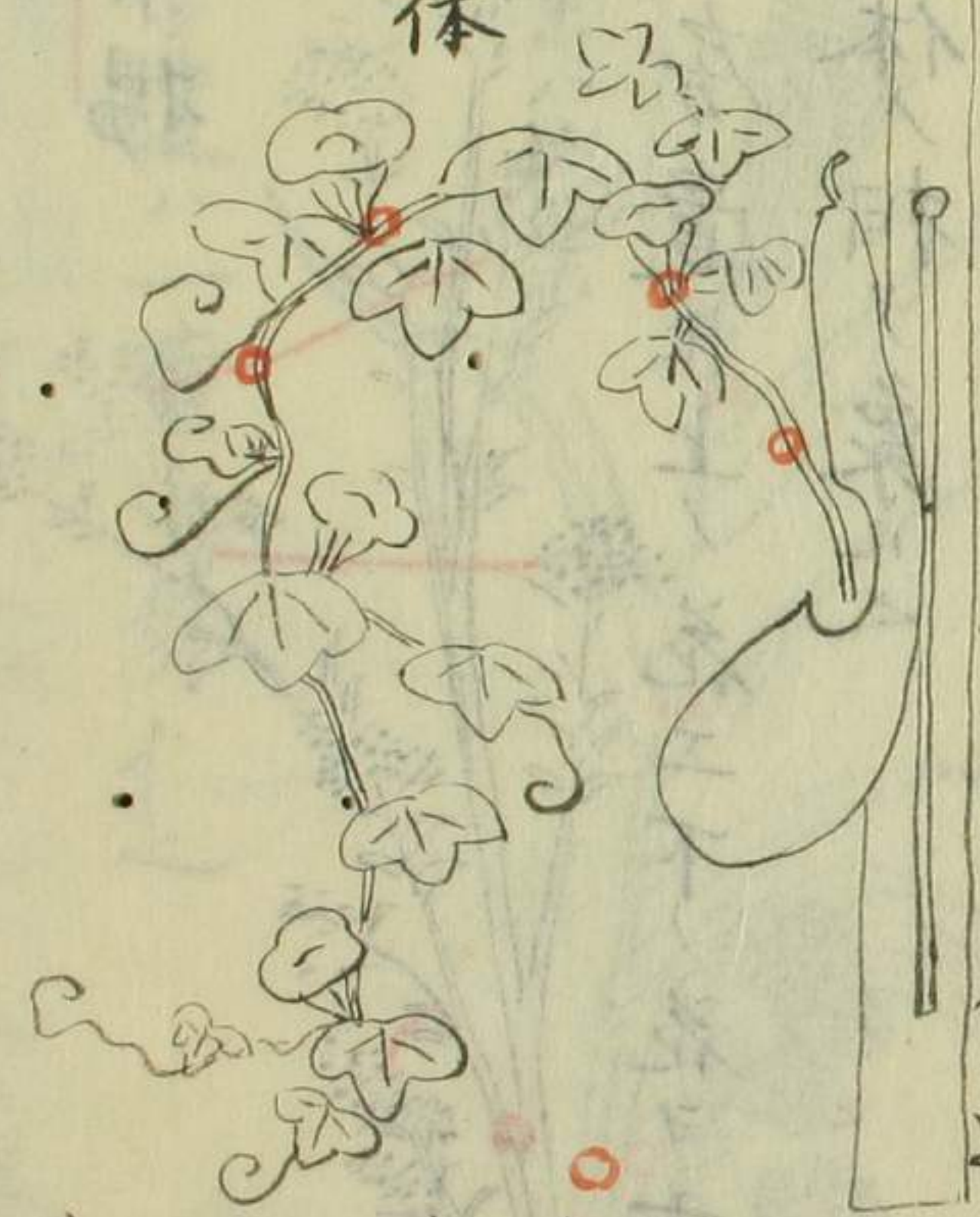
是下段モノ之珍花時ハ体留ニ花ヲ居工成皿花ハ通マテ残花ハ体ヨリ

上何レ工成花ヲ

居ルノ

蔓幾本遣共五体

工割ヲ付テ遣フ



○朝貞ノ別イ曰珍菴

ノ時葉隠レノイト

云フ有体留ニテ花

ヲ居テ阴阳ト枝ニ

上ヨリ葉ニテ雲縮フ

ナリ

○菊 女郎巷 男郎花

石竹 梅子 紫揚

花凡テ房花

ノ類ハ皆同様

ニ段生之幾本幾房遣居上ノ花工下ノ花ヲ重テ

丈ヲ引離シテ五体ノ相ヲ象ル之



九
七

○芒 穂花トオリテハ片靡ト志モ之 芒一本遣フ時ハ下ヨリ

ノ葉ニテ通ノ坐ノ坐ノ寸ヲ合テ令ノ坐ヲトル之 通ト令トノ間ニ余

葉アル時ハ通ト令トニ紛レザル様ニ

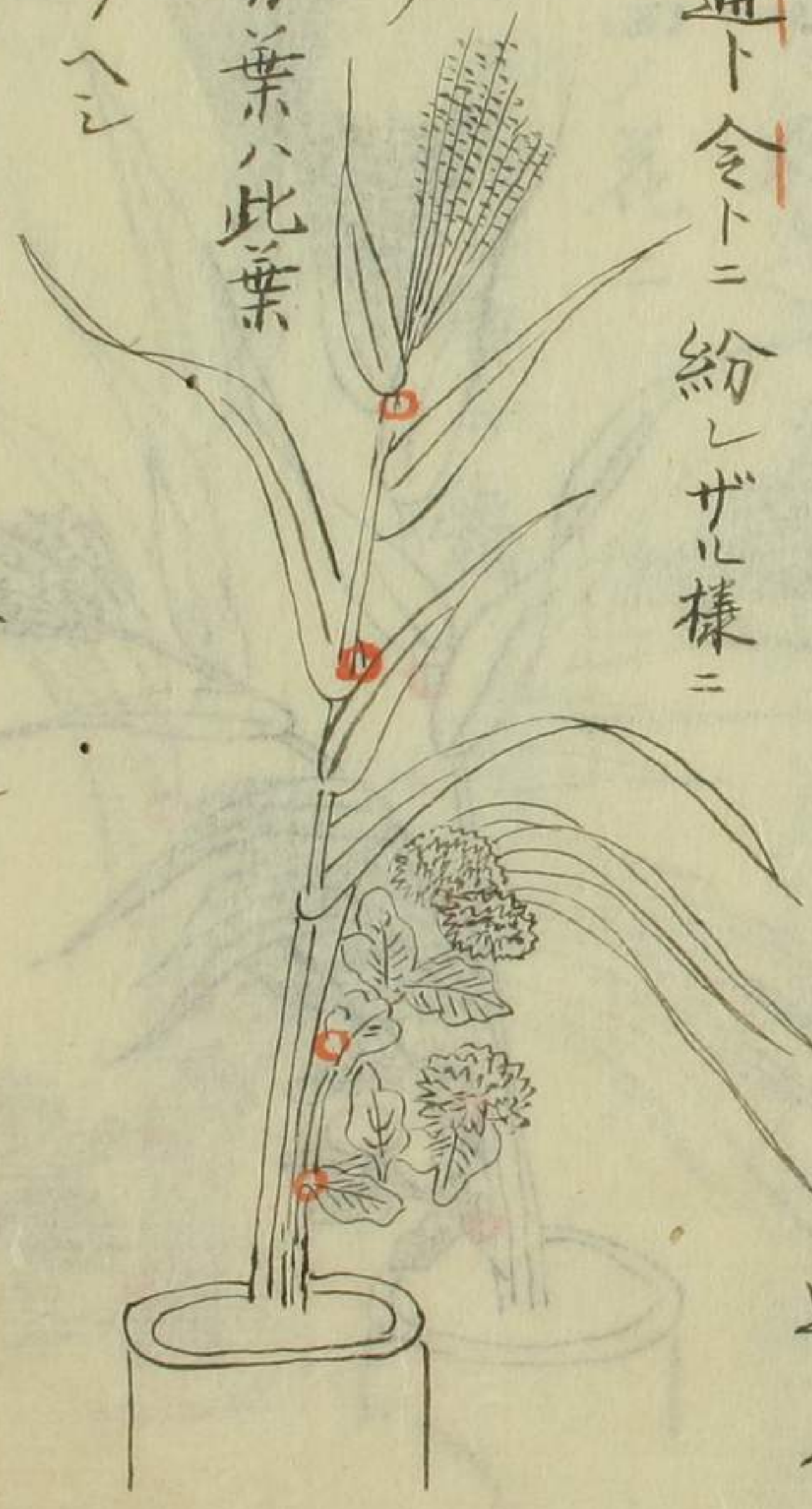
葉ヲ振リテ

遣フヘシ惣ジテ

草木凡ニ四方葉ハ此葉

割ヲ以テ遣フヘシ

通用工葉數多ク遣ハ一莖千枝ノイ之



○花 通用ニハ...

七
八

○芒通用ニ別ノ莖ヲ遣フ時ハ直ナレハ一ノ葉靡ケハ分レテ
 坐ヲトルナリ



○芒

ノ葉ニテ風ハ坐ノ葉ノ上ニ合フ令ノ坐ヲトリス
 一ノ本豊ク朝ハナレリ

○月見ノ芒ノイ曰正ト通トノ間ニ葉ヲ変シテ不遣ト通ニ

テ影向ノ坐ヲ象ルニ

時ノ花ヲ手向ノ花ニ

遣フ通ノ下ニ出ル葉ヲ幾

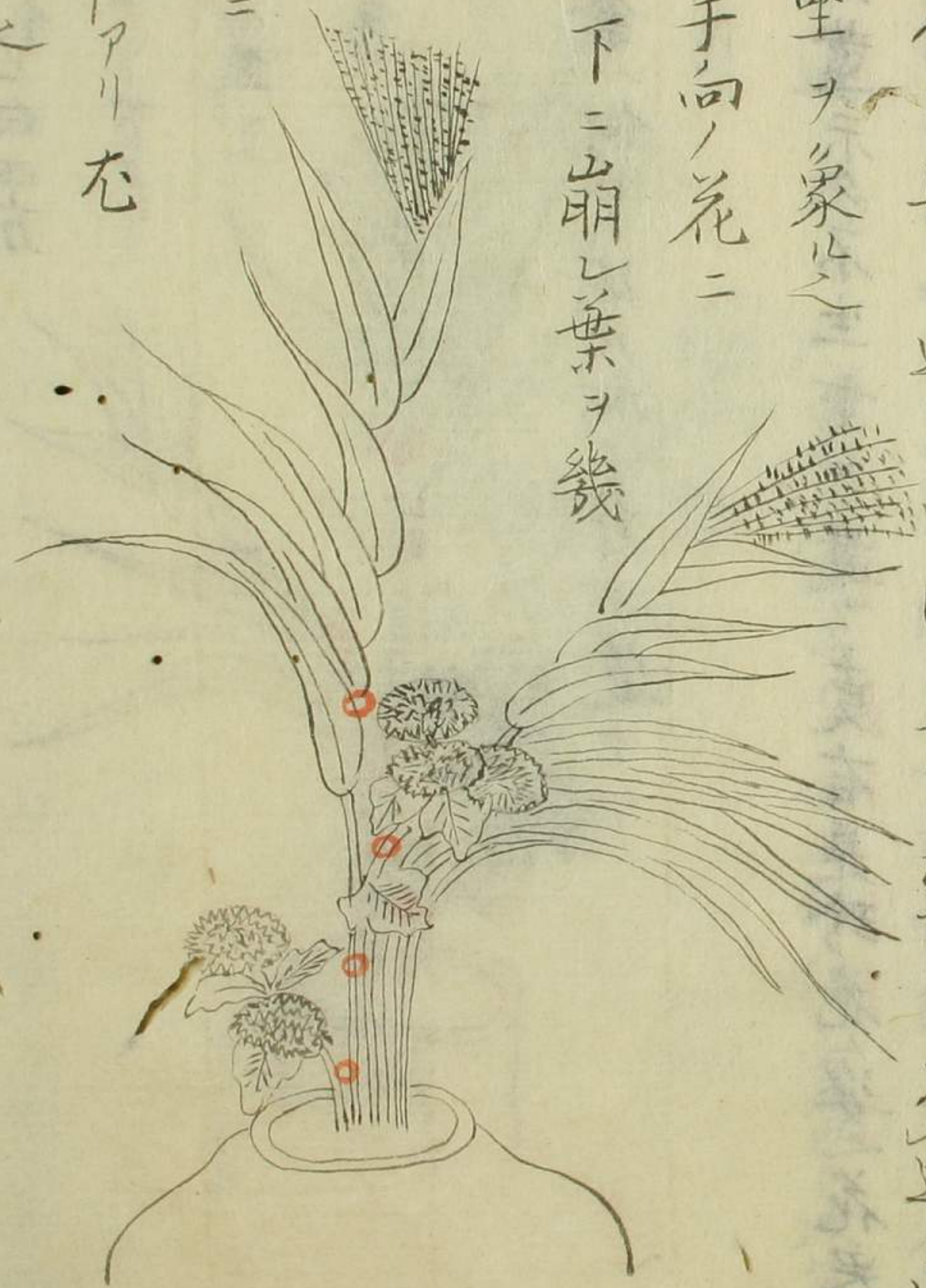
牧モ重テ

三ツニ分ケ

是ヲ蛇腹ニ

組テ遣イアリ云

作為ノイ之



○若生ノ芒イニ曰四方

葉ニ生スルナリ下ヨリ

一ノ葉ニテ令ノ坐ヲ

取又通ハ下ヨ

リ一ノ葉ニテ

坐ヲ取之余ハ何ニ成凡相ヲ付テ遣ナリ



若生ノ内ハ莖未タ不生葉ヲ遣フ是珍花ノ姿ノ花器ノ

寸ハ莖ノ内ニテトル之

向ノ葉ヲ變シテ不置通ニ

○菊夏秋大中小春冬ハ小菊ノ段生ニ大輪ノ段生ニ二イアリ

一イ曰正工通ノ花ヲ重テ通工令令工体体工留卜次第ニ

重テ夫ヲ引

離シテ生成

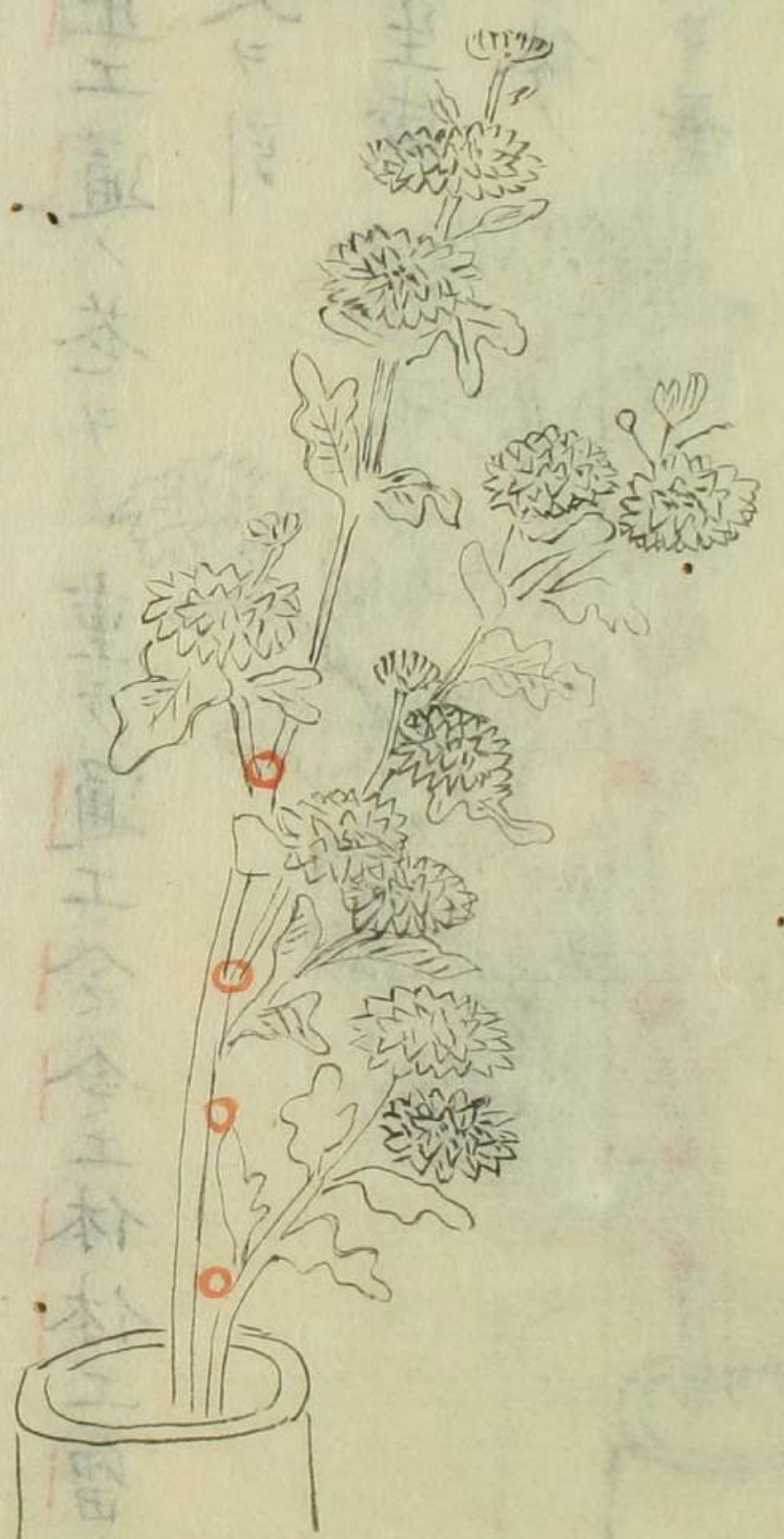
ス是五体ノ

段生ナリ葉

ノ遣方ニロイアリ



○中輪モノ、段生ハ上ノ花ノ下エ下ノ花ハ上ヲ段々ニ重テ夫ヲ引膚シテ五体ニ割ヲ付シバ五段生



○大輪三段五段ハ段々ニ五体ノ坐ヲ除テ生ルニ或ハ七段九段十三

○大輪三段五段ハ段々ニ五体ノ坐ヲ除テ生ルニ或ハ七段九段十三段等ノ生方モ此生分

ニテ推知セヨ

イ曰正工通ノ花ノ輪指波裡ツ、下テ幾段ニ生ルニ割合フヘシ是ハ花甚々長短有時ノ段生ニ尤葉ノ遺分口イ有別シテ四方葉ノ遺分肝要



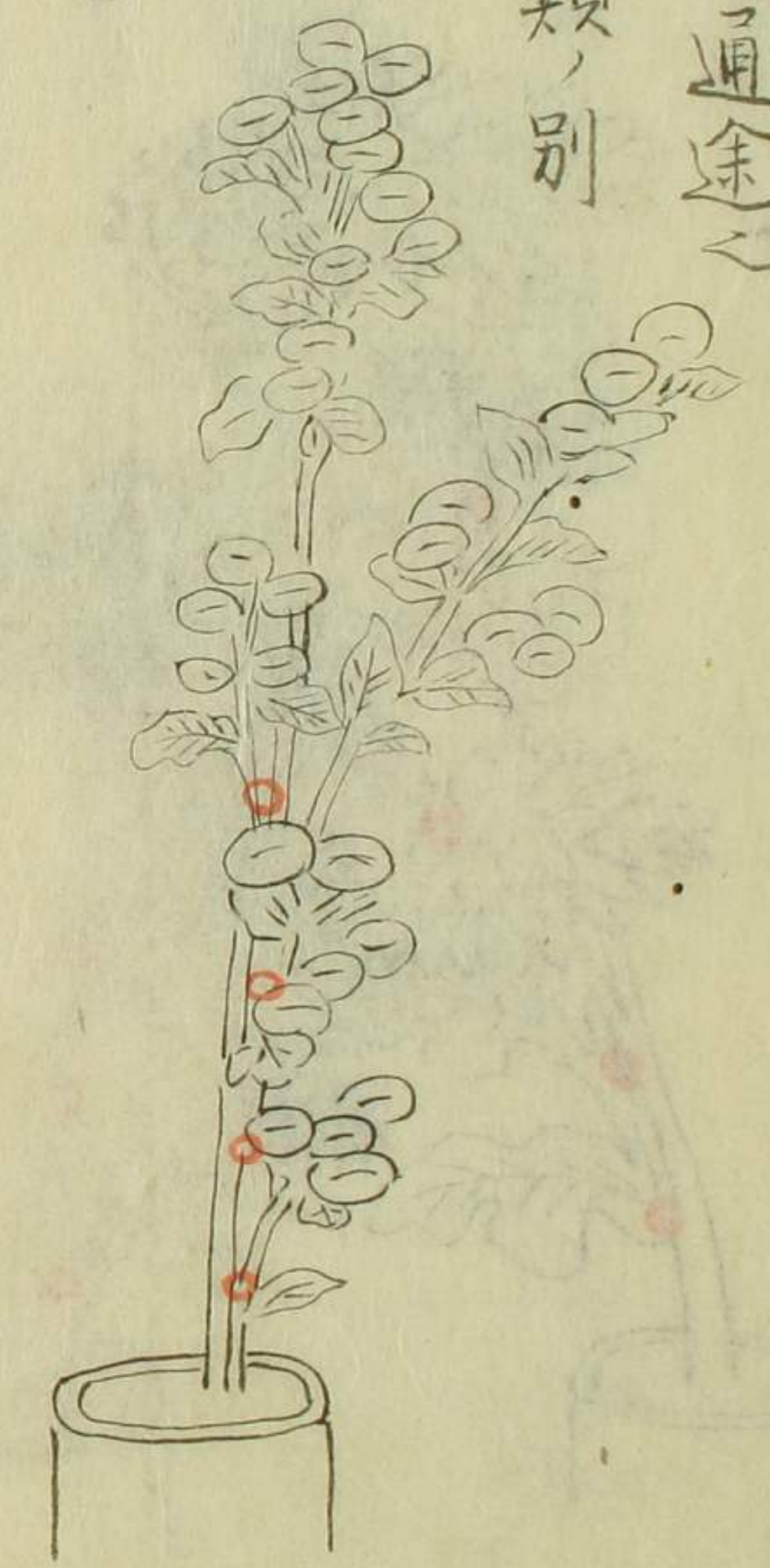
○四季花ニ小菊ノ段生ハ皆同様ニ葉ノ遺分ナレ花別イアリ

凡此類段生ニスルニ不限五体五行ノ割ヲ以テ四方葉ノ

イニテ生ハ通途ニ

段生ハ此類ノ別

イナリ



○大樽三頭止頭ハ頭ニニ五本ノ葉ノ割ナレハ六頭六頭六頭十三

○椿 青木等

惣テ柯アリテ身木ニ

中葉大葉ノ有者ハ

単木トニ全断ニ

阴丁阳半ノ数

ヲ合テ下ル之若柯アレハ一々ニ次第ニ葉下ヘレ蒼葉阴

阳ハ花半ノ時花丁葉丁ノ時ハ葉半ト心得ベシ凡テ枝數ハ半ノ

正ノ葉半ニテ始レハ留ノ葉半ニ半ヲ枝數ニナキ時ハ如此ハ竹葉ガ冬ニ能ク思推ベシ



○葉ニ椿惣テ下段モハ珍花ノ時ハ体留ニ備花ヲ遺フ

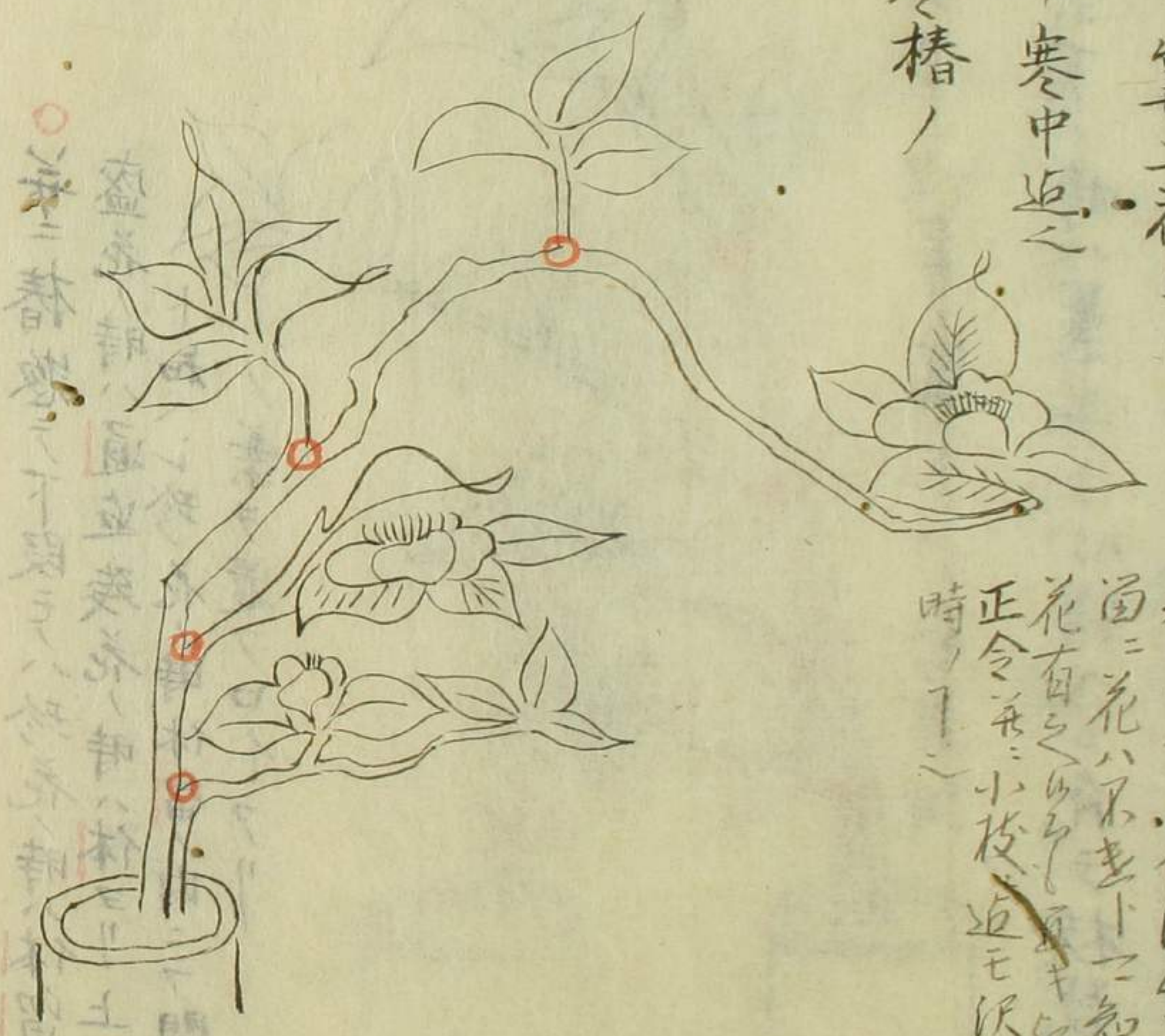
盛花ノ時ハ通途殘花ノ時ハ体ヨリ上ニテ備花ヲ遺イ

ト知ヘシ珍花ノ時体留ノ内ニテ開花ニ霜カツギ

ノ葉ヲ遺フロイアリ

○五行ノ時ハ葉ヲ令ヨリ算工初ルリ
 椿霜カツギハ初咲ヨリ寒中迄之
 是ヲ他流ニハ寒椿冬椿ノ
 イト云秘イ之

○替 青木等
 中葉大葉ノ百香ハ
 常ニ開クハ其木ニ

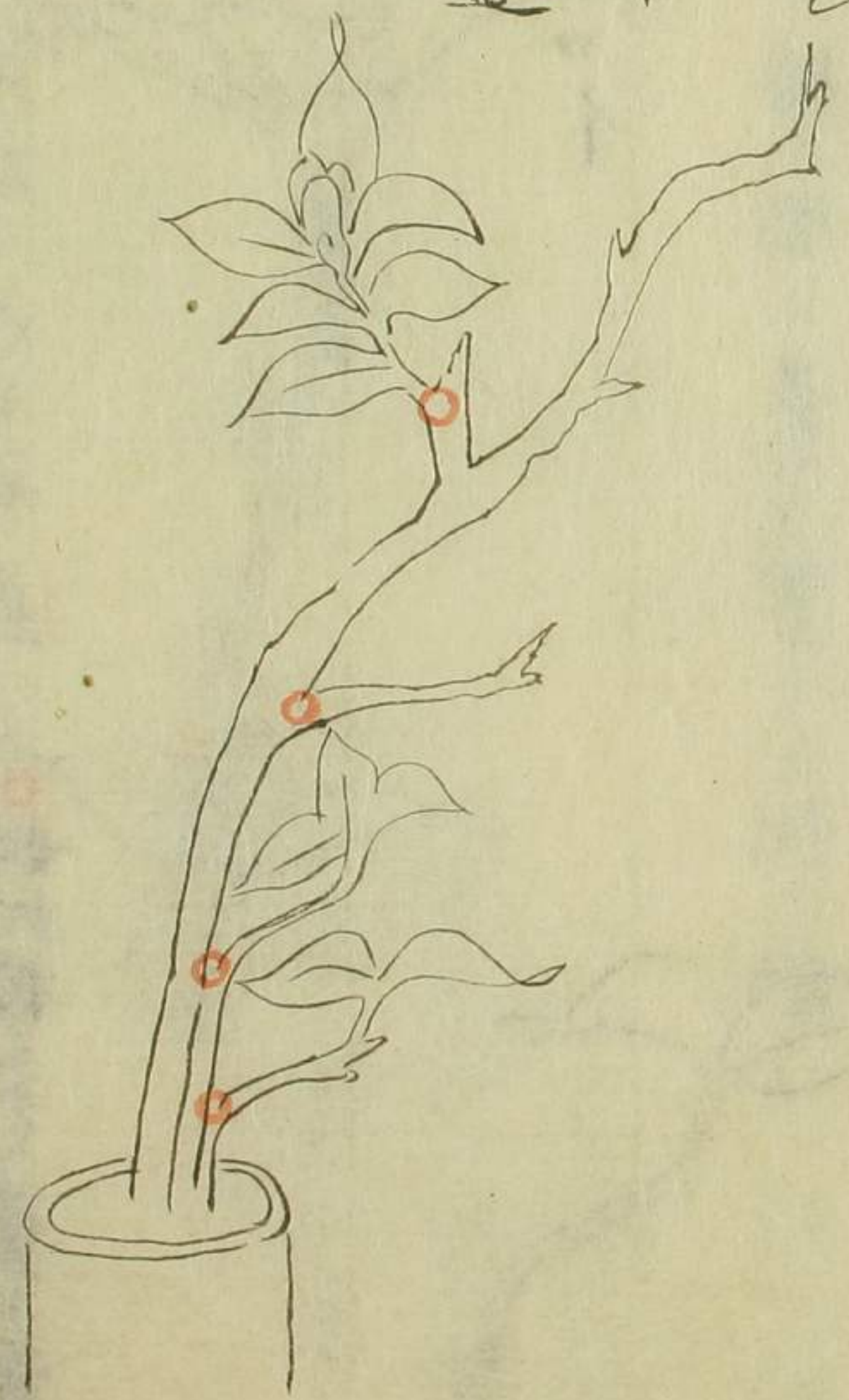


○春ノツバキ花沢山十ル時ハ
 苗ニ花ハ不モトニ冬休迄ハ
 花有之ハ冬ノ末ノ花
 正令モト小枝迄モ沢山ノ花咲リ
 時ノ下ニ

○此ニ替サレテ別ニハ冬ノ末ノ花
 正令モト小枝迄モ沢山ノ花咲リ
 時ノ下ニ

○凡テ身木ニ付大葉中葉ノ類ヒモ五体工各花葉ヲ付ルニ及ハス切株
 ニテモ坐ヲトツテ若シ

カラス一輪生ノロイ
 阴阳ト校ミ葉ヲ遣
 ロイアリ



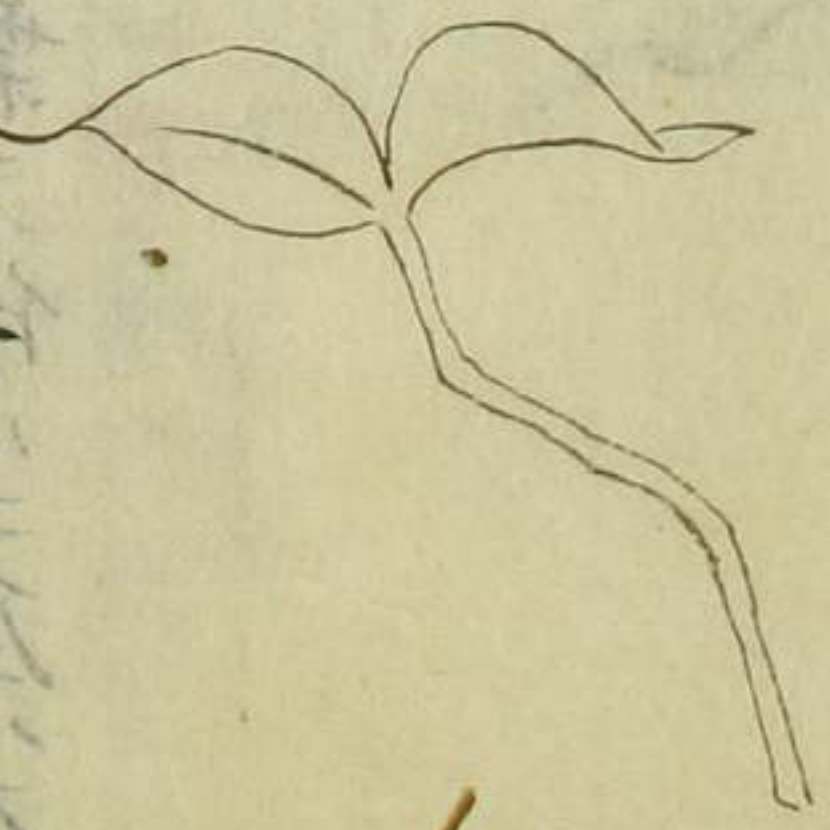
○別イニ曰佐助明連寺
 此三種ノ椿生ベシ花直咲ハ遣テ宜シ
 十五夜
 名月トモ云
 白玉



○霜カツギノ葉ノロイ



○如此枝之タレ葉ヲ賞翫スル之



○一輪生ロイノ葉

○梅ノ荅 狗子柳 庭徳等

其外芽アル者ハ丑体ノ割ノ間ニ荅芽等アル時ハ喩ハ



令通ノ間ニアリトモ令ハ后ニ形ヲ具通ハ本坐ニ具ハ不苦ロイアリ
四上カ葉ノ如シ是ハ单木同支之

○ 餅ノ蒼 餅ノ葉 餅ノ花



○ 枇杷花ヲ 阴阳葉ニテ 枝
ハシ葉 阴阳ノ 數ハ 椿等ノ

如シ

○ 水仙 出生イ日 花葉 凡ニ 阴ニシテ 生ル葉ハ 四葉六葉ナリ 三枚迄

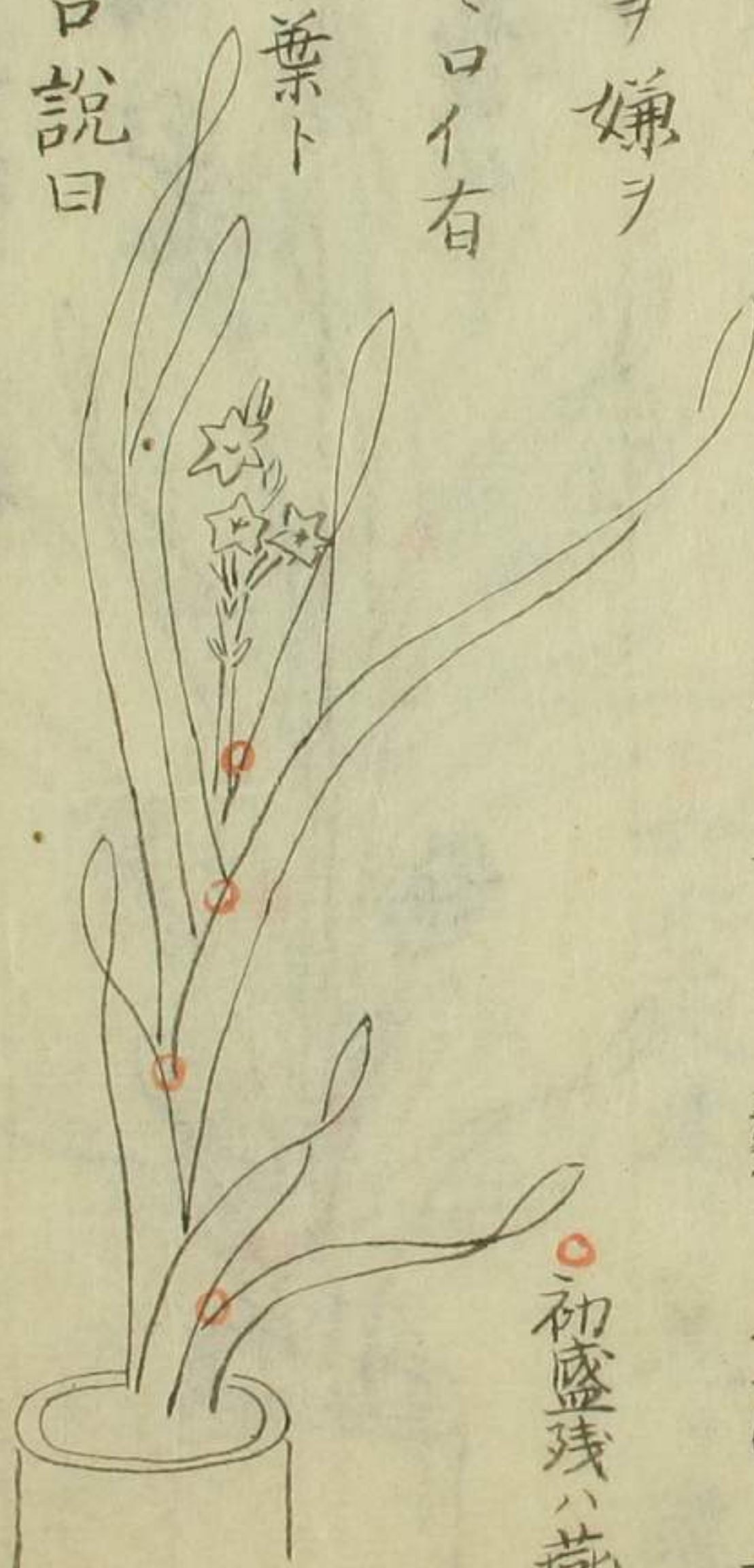
ハ 花生セザルモノ之 然ルニ 花レベ六ツ葉モ丁數ナレハ 阴ニ相凝故ニ

阴ニ凝ル 莖ヲ嫌ヲ

テ家々ニ種々ロイ有

重子葉 蔭シ葉ト

云ニ説アリ 口説曰



○ 初盛残ハ 燕子花ノ花ノ 居様ナリ

六枚遣フ時ハ 重葉蔭葉ノ内何レニテモ 遣ハ五枚ノ相ト成或ハ五枚ハ
阴阳ノ四枚トナル 如斯遣ヒ分レハ 幾枚遣 凡不苦 花一本ニ
葉六枚ニ限ル之 花無葉ニ枚三枚ニテモ一莖ト成ス

○水仙ハ一莖ニ花一本宛生スルモノ之
初盛残ニテ葉ノ遺分アリ分

体ニテ重テイフ他門ニツクミ

葉ト云フアリ甚秘之予カ社中

取ヘカラス花体

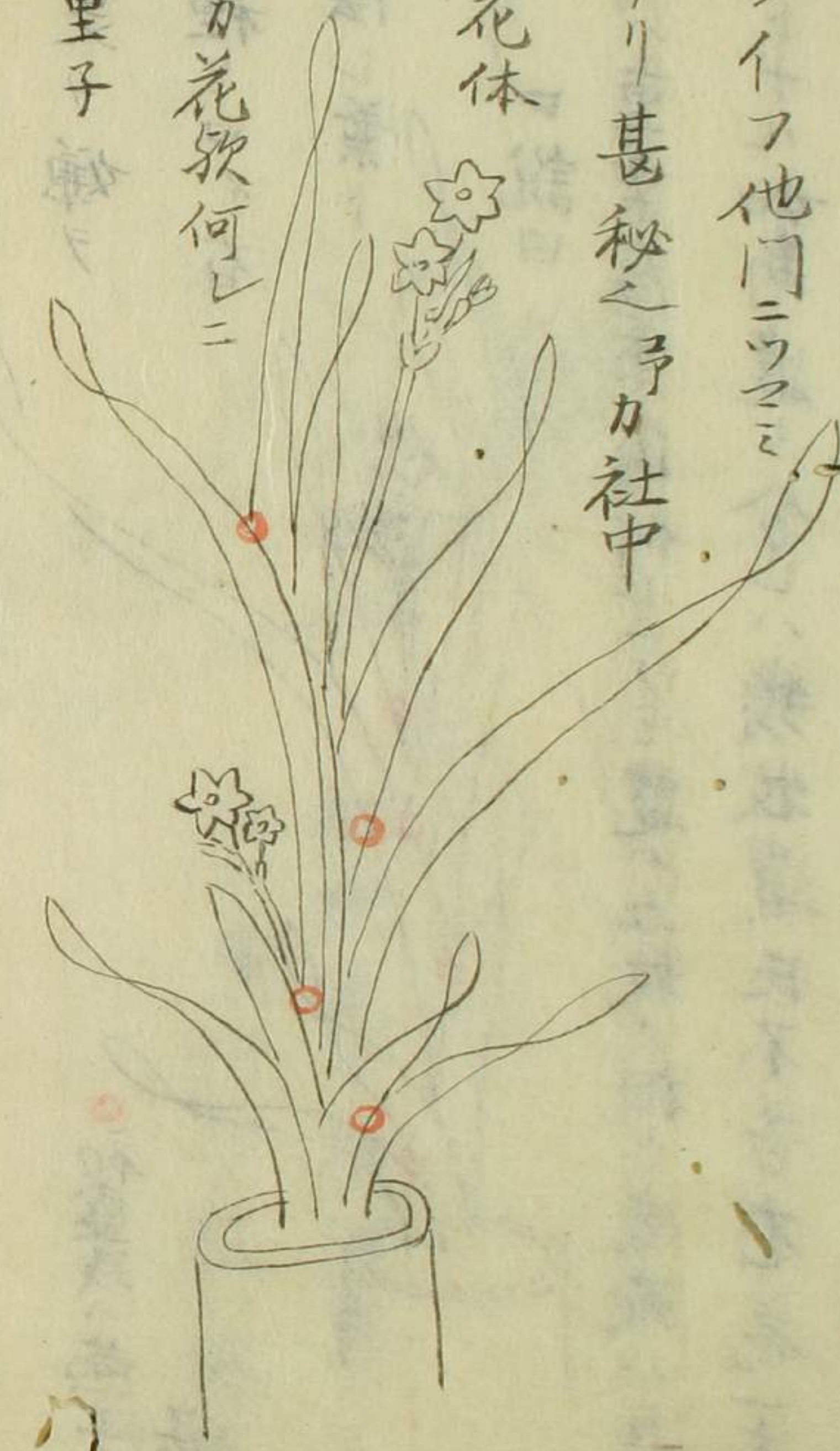
ノ四六八正

花ノ真葉カ花欵何レニ

テモ不苦皇子

葉蔭葉ハ何レノ処工遣フ凡不苦子丁煖十ハ所ニ味露也ニ

○水仙ハ一莖ニ花一本宛生スルモノ之初盛残ニテ葉ノ遺分アリ分



○水仙一莖ニ幾葉有トモ前ニ二枚有ハ後口ニ二枚必有者

依テ葉數ヲ遣フ時ハ前工

ニ枚葉ヲ遣フ

時ハ後ニ葉ナシ凡

花ヲ遣テ不

苦口説有

如此ニ枚遣フハ花ヲ遣フ凡不苦



○水仙骨體ニ生ル時ハ如圖

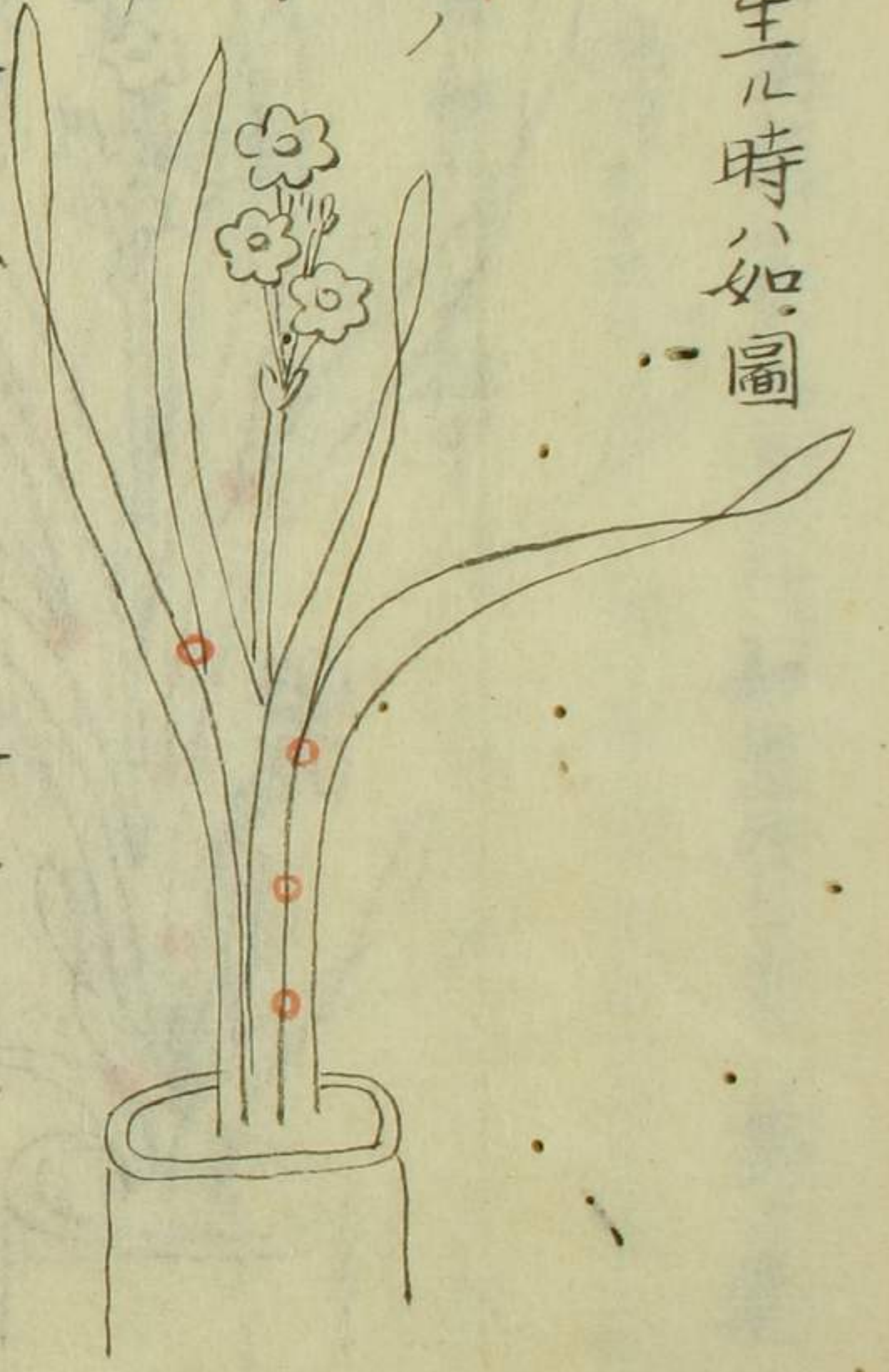
生ルナリ

器ノヨリ留体ノ

坐ヲ取りテ寸

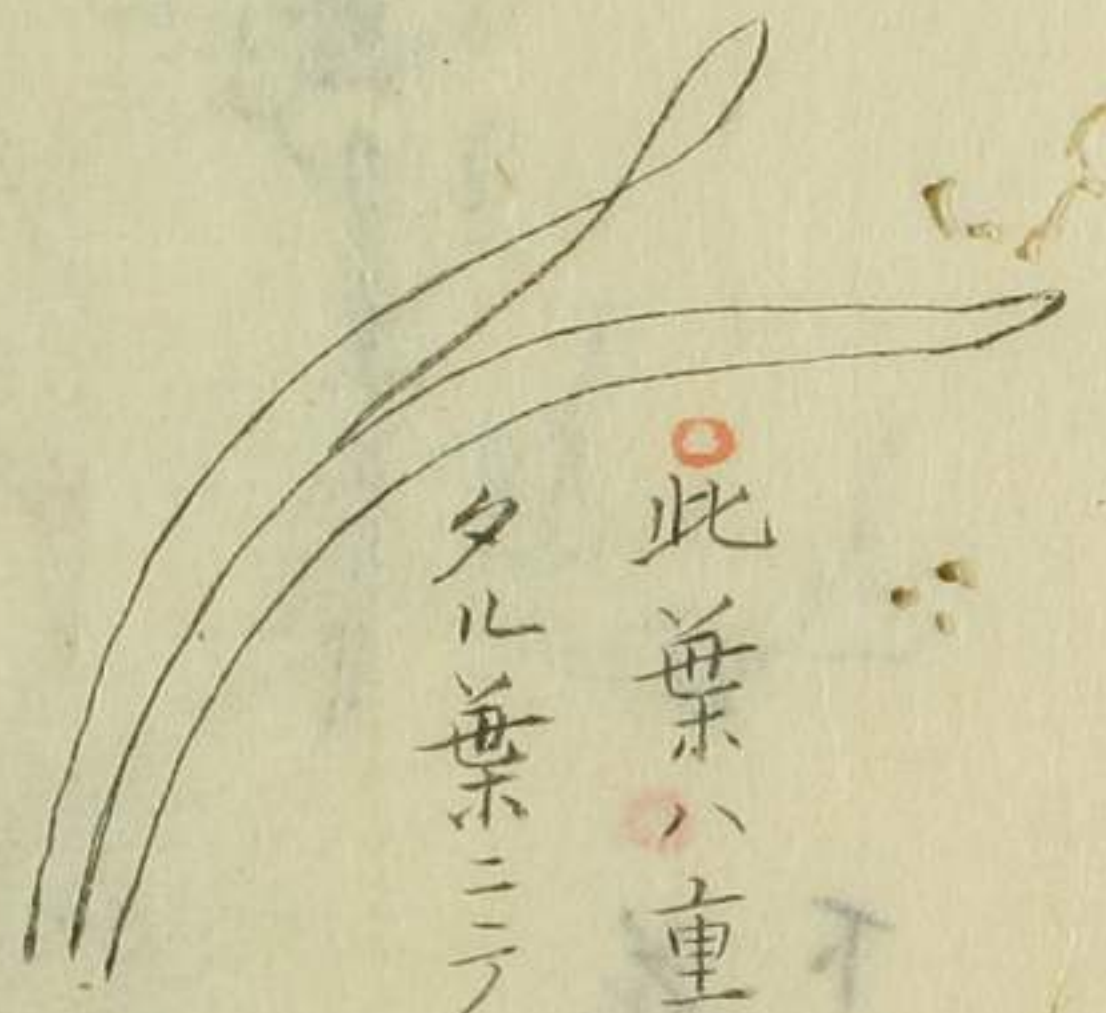
ヲ合セ通ヨリ

上ヲ生ル之 在器ニ應シ寸ノ曲尺合肝要之



水仙ノ葉ハ長ク細ク生ル時ハ如圖ニ示ス如クニ葉ハ長ク細ク生ル時ハ如圖ニ示ス如クニ葉ハ長ク細ク生ル時ハ如圖ニ示ス

○此葉ハ重子葉ニテ隅欵横カニ生シタル葉ニテ遣フナリ



○此葉ハ蔭シ葉ニテ是ハ後前エ指シタル葉ニテ遣フナリ

シタル葉ニテ遣フナリ



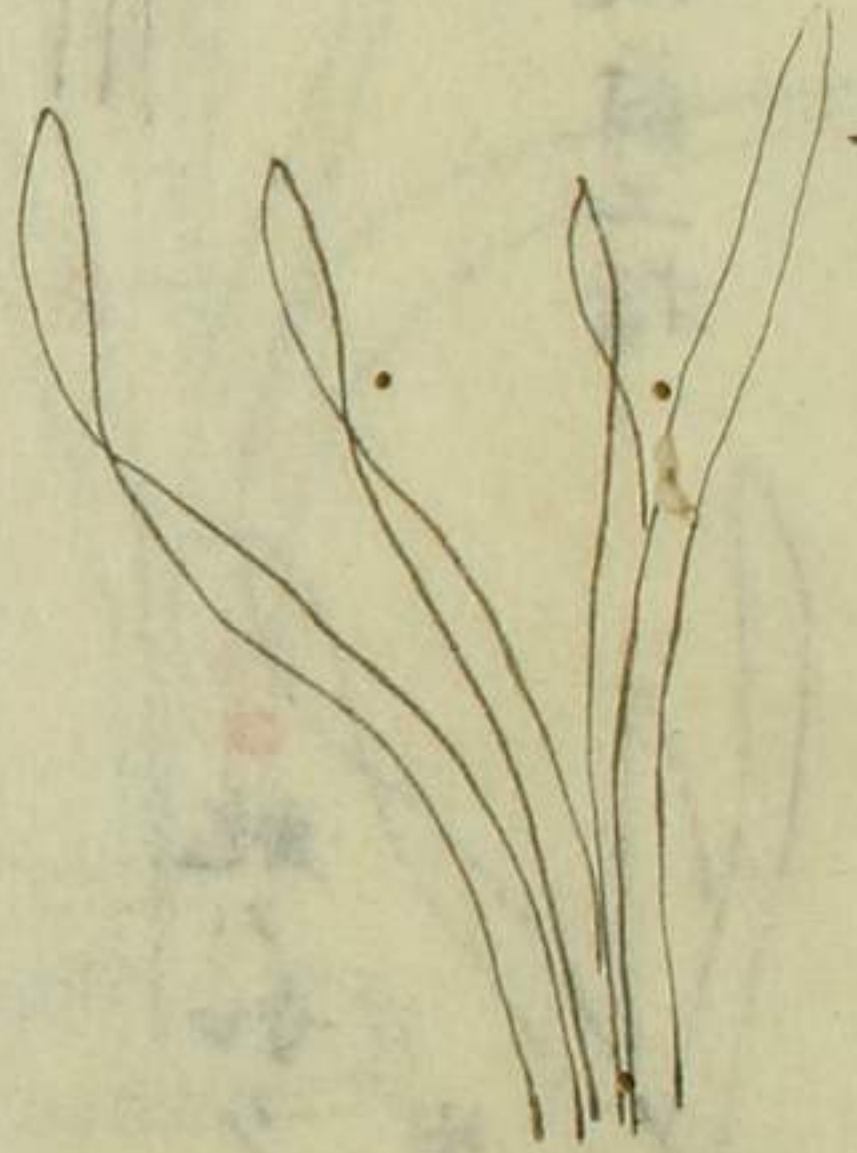
○此ノ如ク三枚ニテハ花生セス能ク出生ヲ考ヘ

○ 如圖六葉^{トハ}陽^ハ花

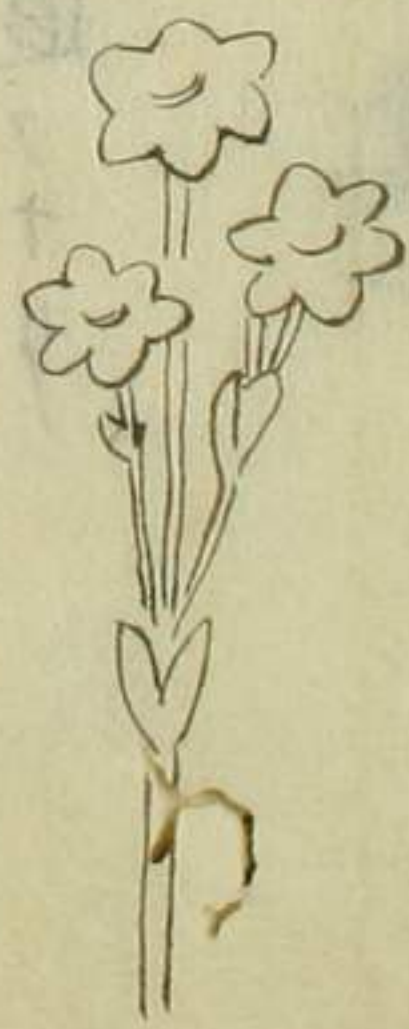


○ 如是其室ヨリクモデマデ
ニ寸ツ、アルモノ之

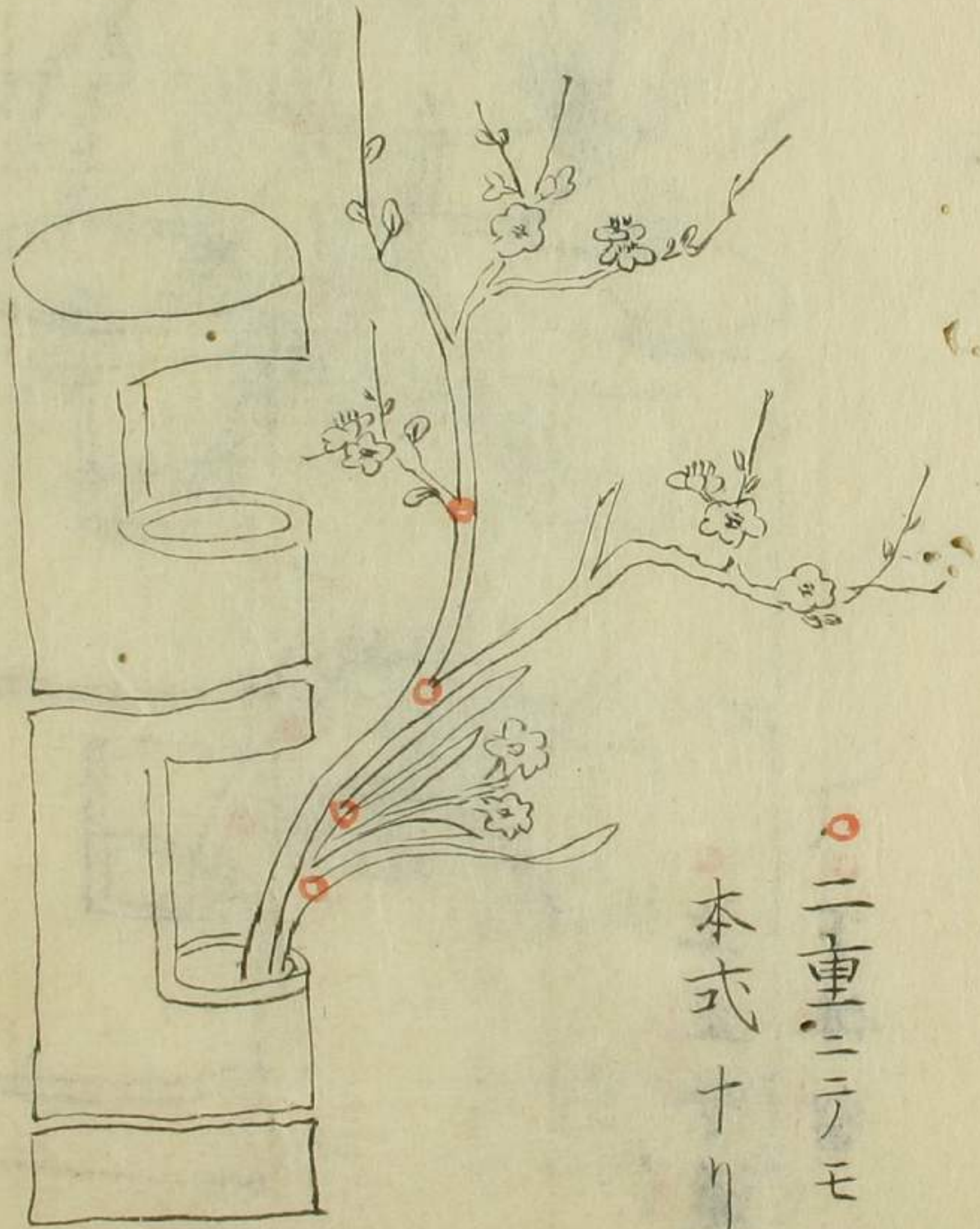
○ 如圖四六了葉ニテ花生スル之



○ 花^ハ教^ハ陽^ハ上^ハ教^ハ陽^ハ十^ハレハ
下^ハ陽^ハ教^ハ上^ハ陽^ハ十^ハレハ下^ハ陽^ハ教^ハ之



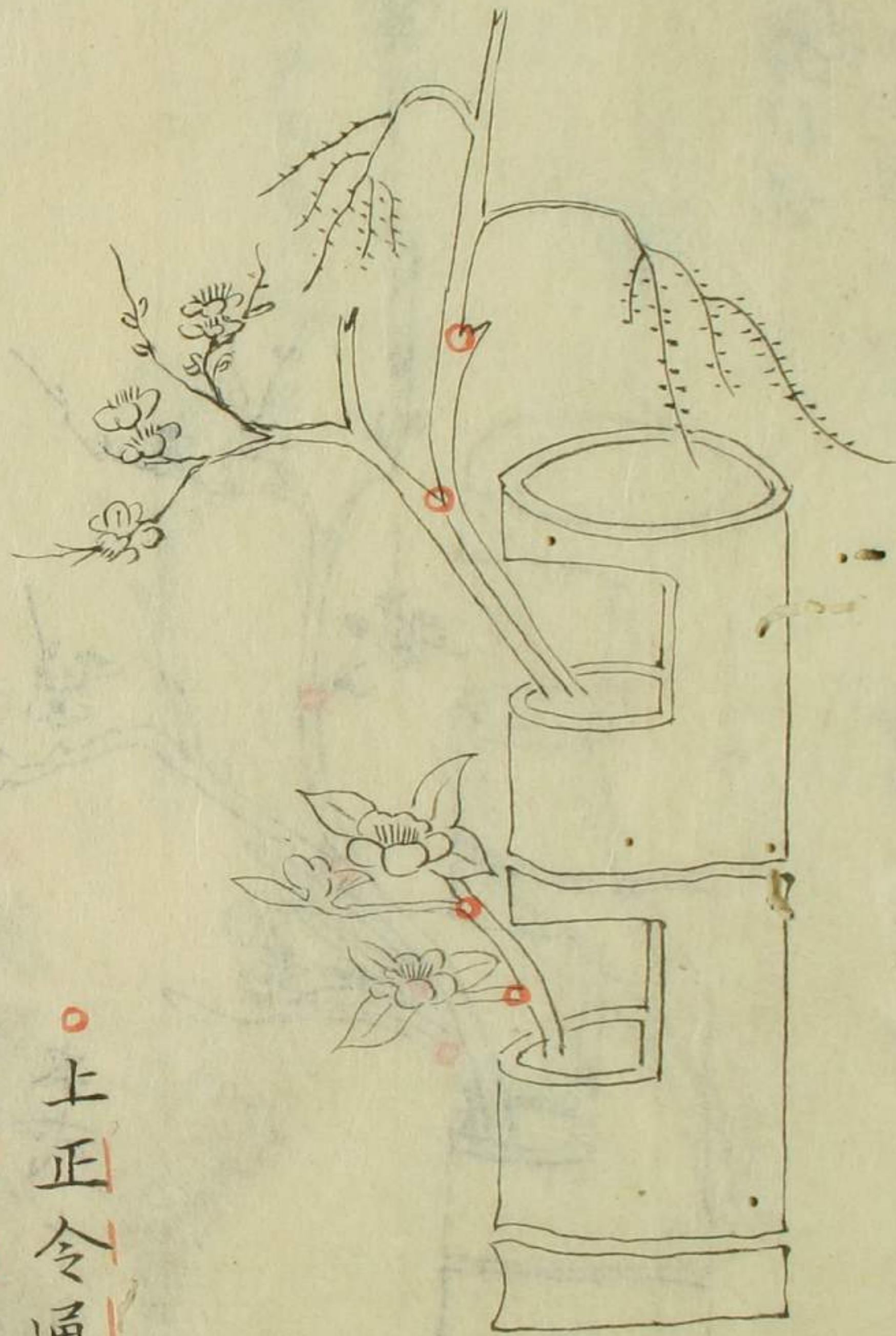
○ 二重ニテモ如斯
本式ナリ



○上正令通
○下留

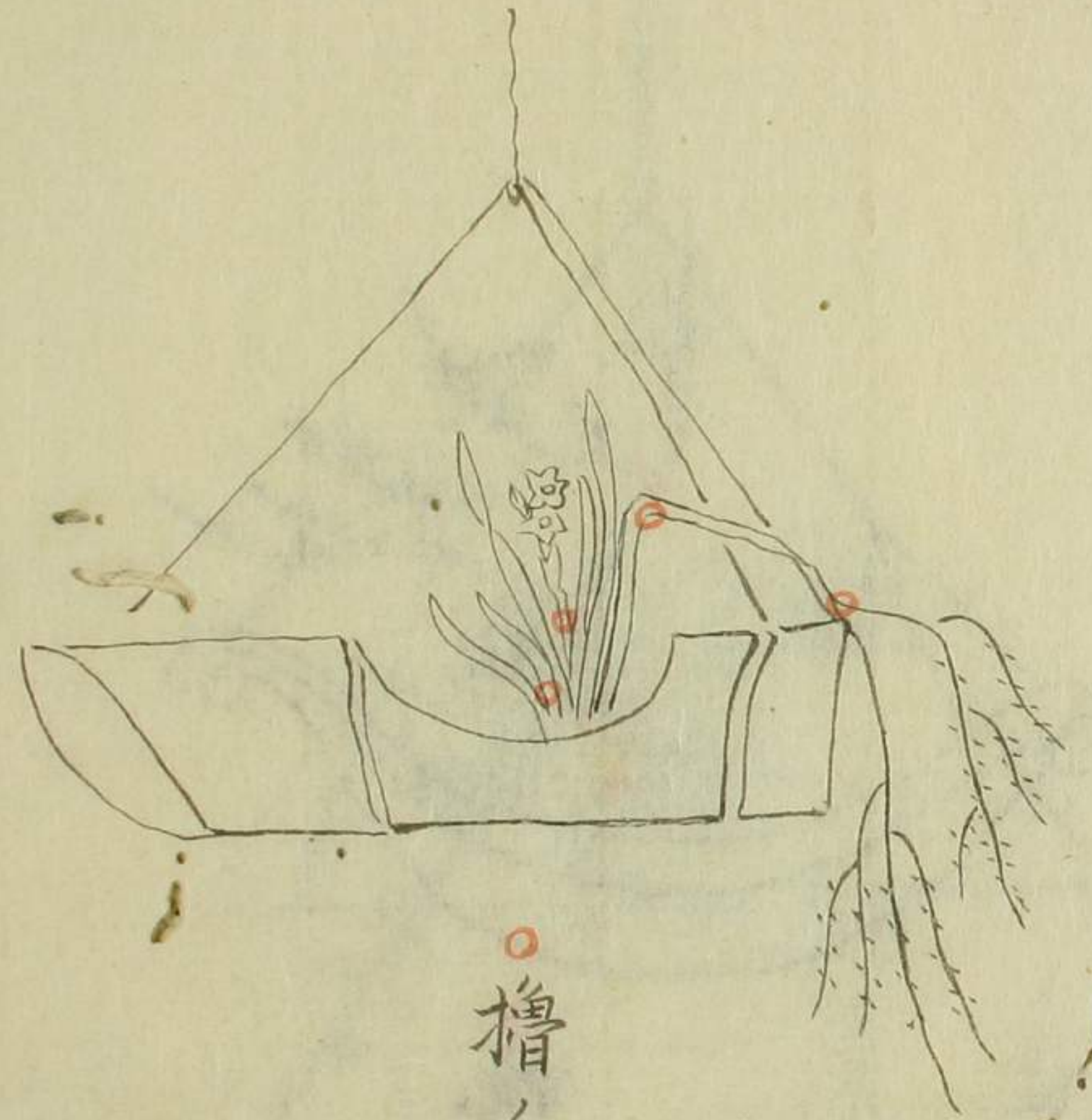
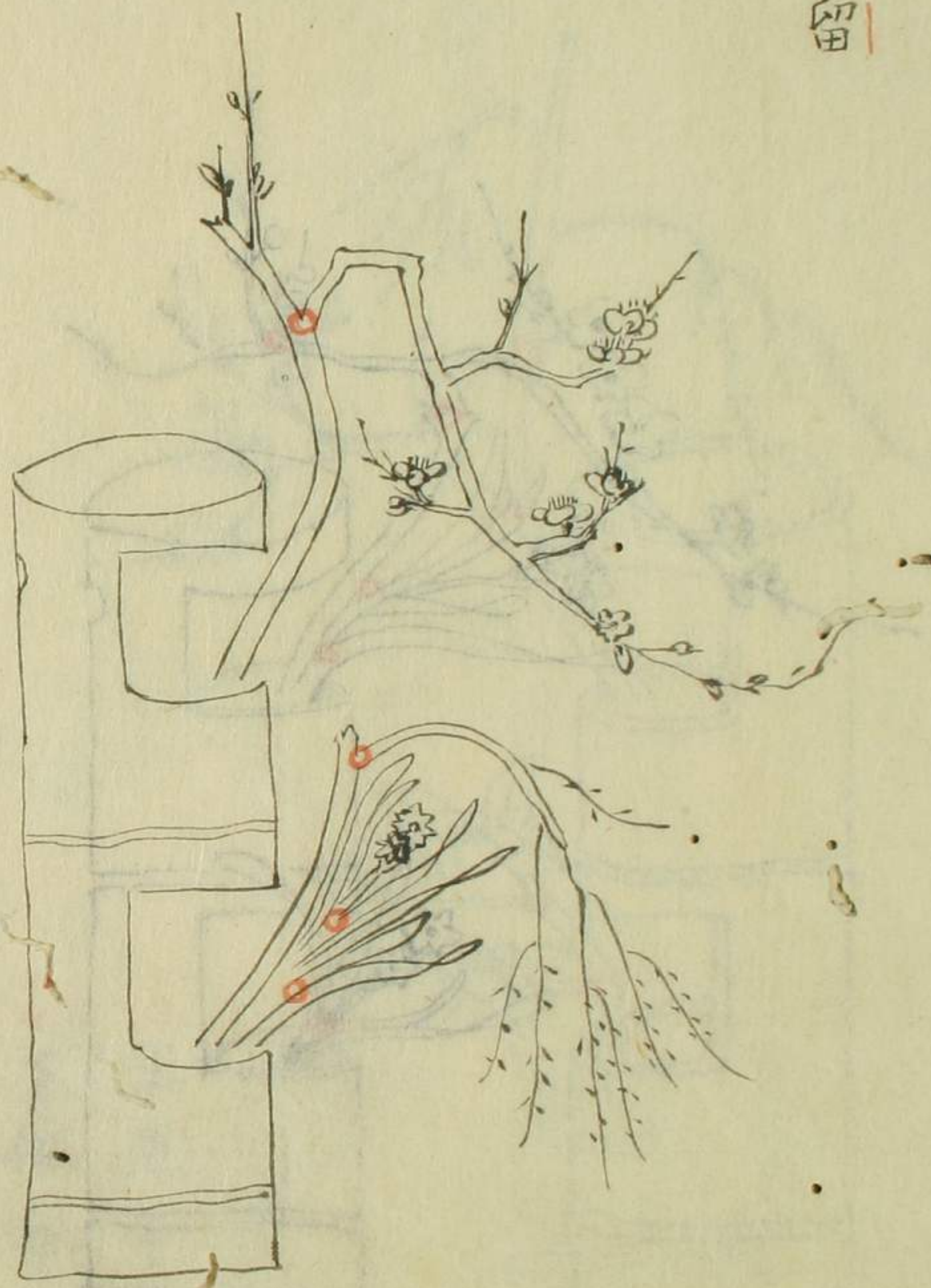


○上正令通
○下体留

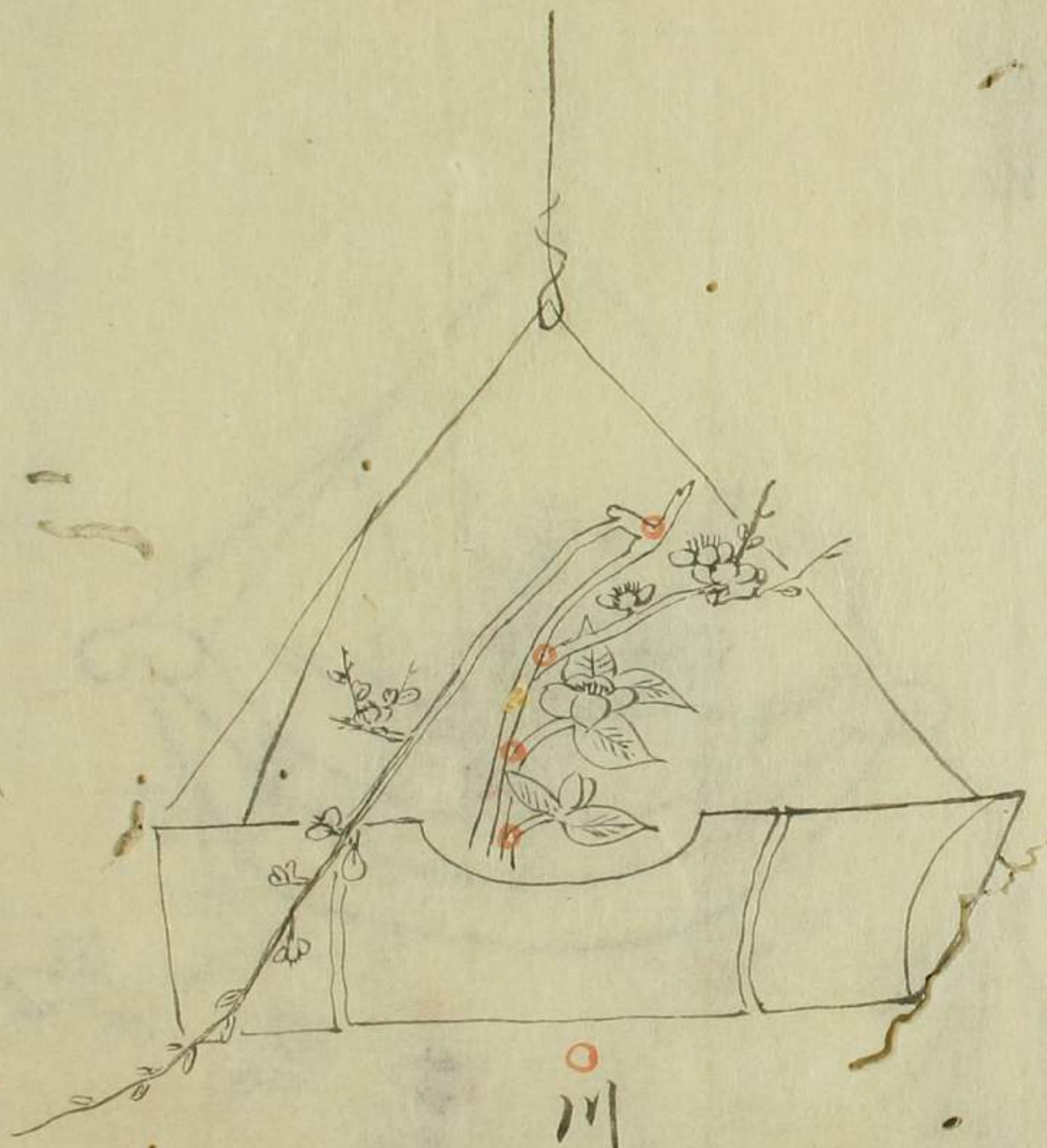


○上正令
○下通体留

○十五令
○下通体留



○槽ノ生方
出舟
入舟
共ニ同ヨウ

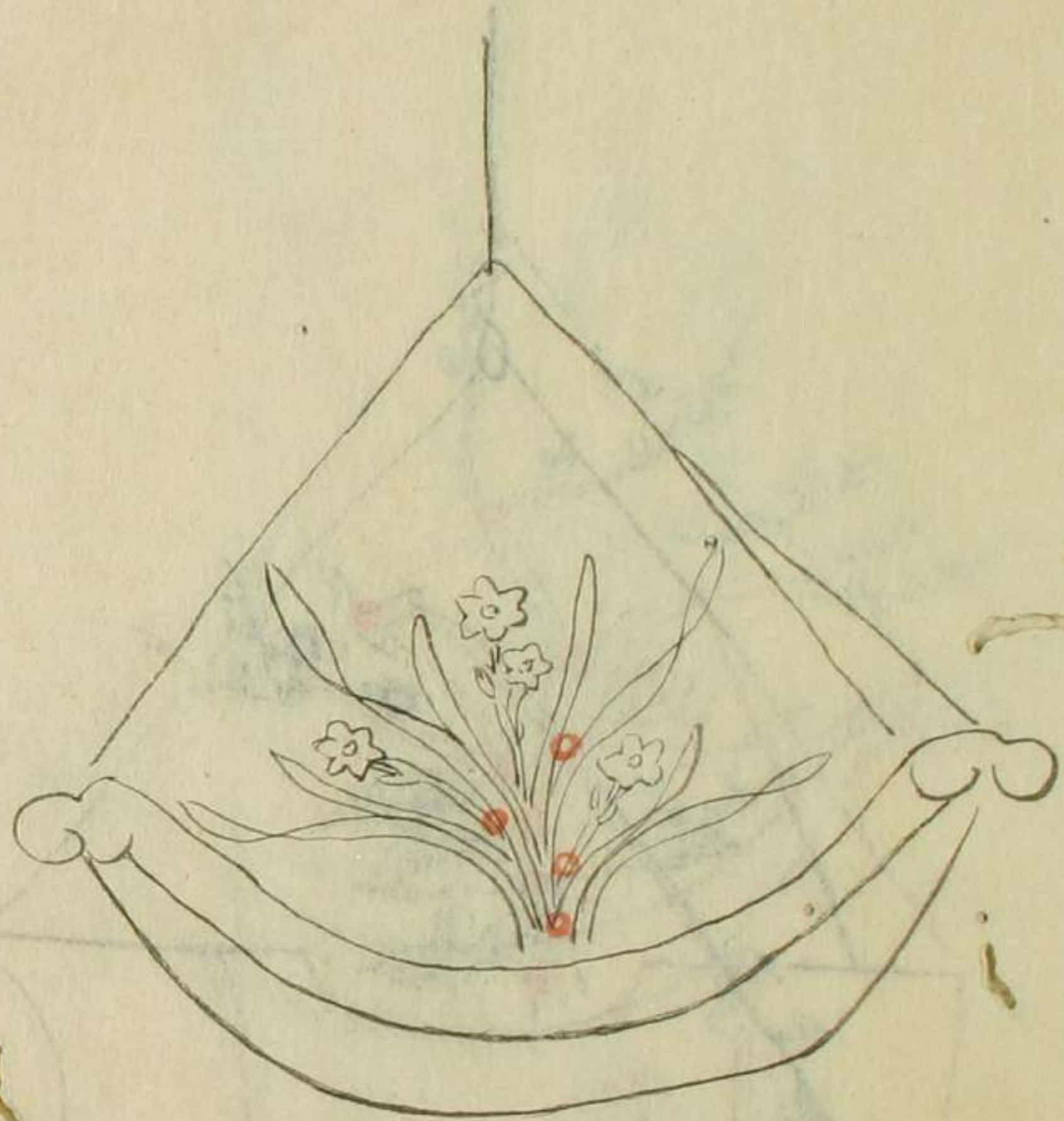


○川舟竿ノ生方



○帆ノ生方
 出船 入船
 同ヨウ

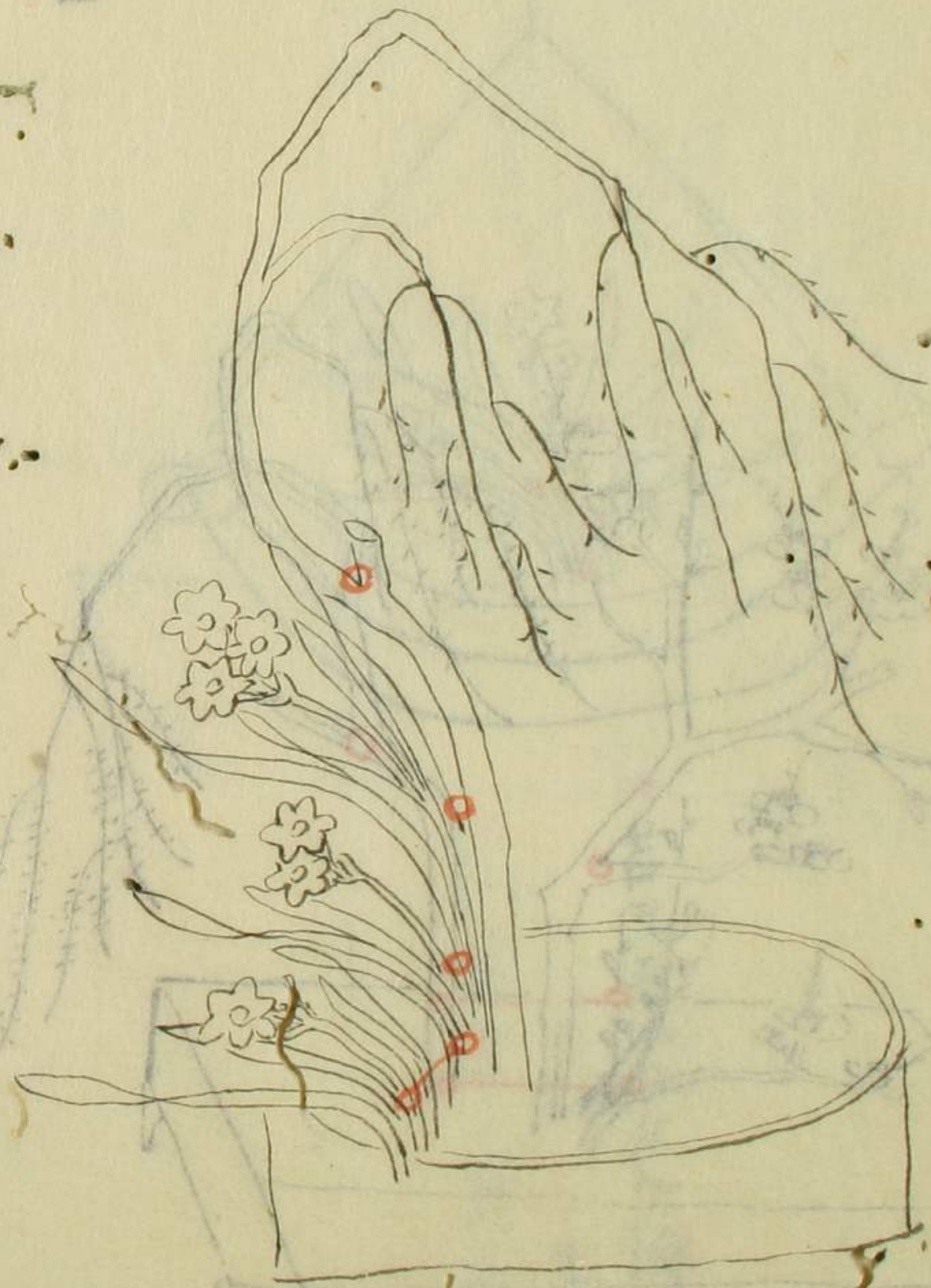
○正花令通体留



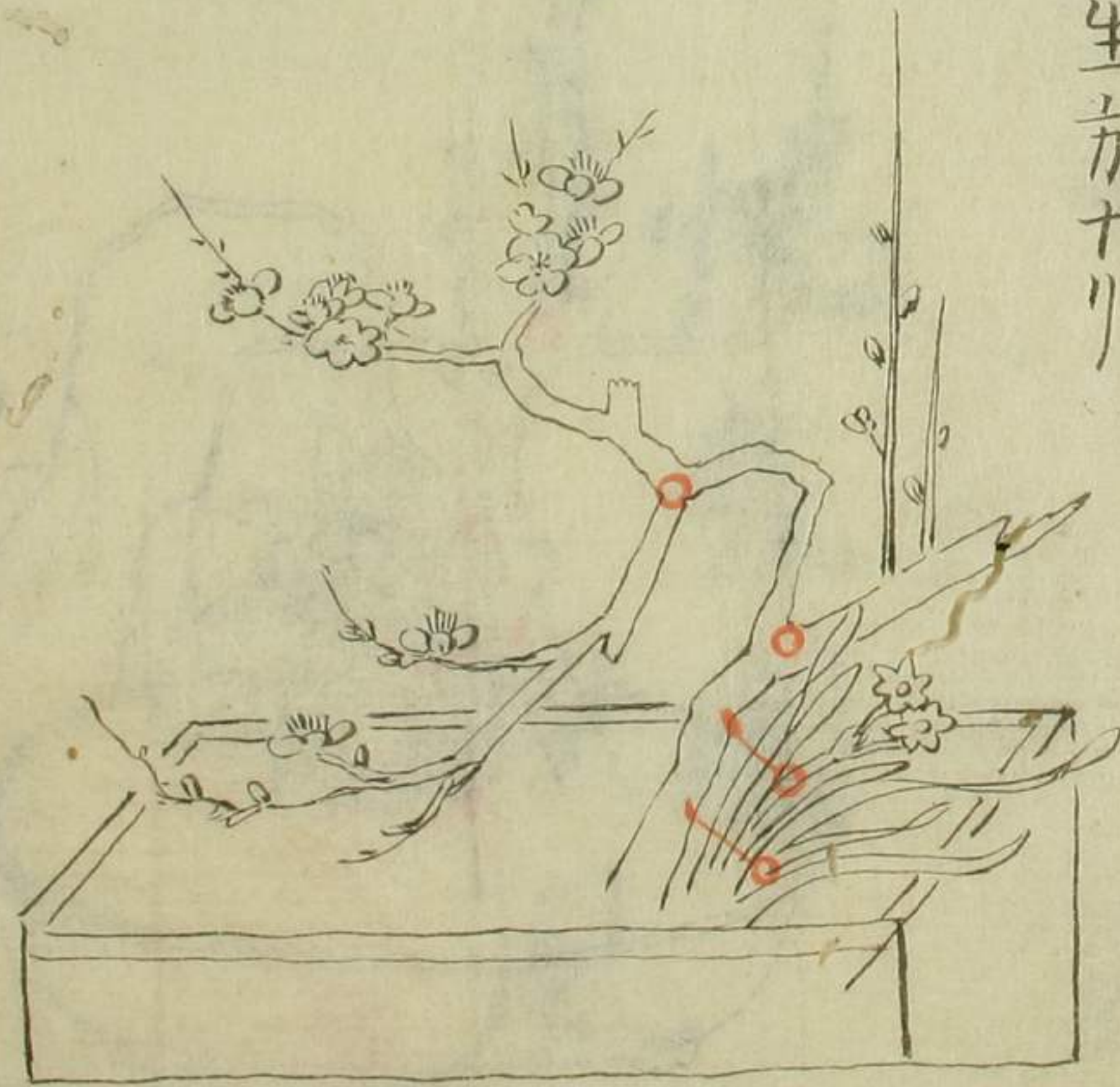
○苔ヲ覆フタル泊舟
ノ生方

○正令通体留ヲ引離シタル生方ナリ

○正令通体留ヲ引離シタル生方ナリ



○正令通体留ヲ引離シタル生方ナリ



○同新

出生傳終



快哉園
此風



